

運 營
— 2018年度 —

1. 技 術 部

(1) 野菜・花卉部門

年間の実習に沿った作付け計画を設定し、栽培の作付け体系を充実させることで安定生産を達成することができたと思われる。本年の4月は暖かく第1週で桜が満開となった。5月は平年と変わらぬ天候であった。6月は雨と曇りが続いた。7月は3日から8日まで雨が降り続き、西日本豪雨災害となった。7月中旬以降、雨がなく35℃を超える暑さが8月下旬まで続いた。9月は雨と曇りが多い天候となったが、10月は晴天が続いた。11月から12月上旬まで日中15℃前後の温暖な気候が続いた。

実習について、昨年に続き3回生実習では、露地の畑(12㎡/3人)を作物栽培の実践の場として学生が管理しており、定植以降の整枝・摘果・灌水・除草・収穫などの作業を、実習時間及び実習時間外の平日でも学生自身が判断して随時行っている。この実習ではコマツナ・ホウレンソウ・葉ダイコン・リーフレタス・トマト・ナス・ピーマン・シシトウ・エダマメ・トウモロコシ・インゲンマメ・モロヘイヤ・シソ・オクラ・ササゲなどを栽培し、収穫した作物も各自で料理して食するよう指導した。

作物の作付けは緑肥栽培を組み入れた輪作体系を組んで土地の有効利用に努めた。景観作物栽培実習の一環として、10aのヒマワリ畑やコスモス畑の播種・定植を学生と共にしている。土作りとして馬術部から‘馬糞’、果樹部より‘剪定木のチップ’、津高牧場より‘牛糞’の提供を受け堆肥作りも継続して行っている。

当農場ではグッドジョブ支援センター(障がい者雇用)のスタッフを、野菜花卉部門を中心に受け入れている。グッドジョブ支援センタースタッフの受け入れは11年目となり、野菜の栽培管理、出荷調整作業、直売所での販売業務を担当し、農場にとって必要不可欠な人材となっている。

地域との関わりとしては、農場直売所での販売のほか、学内生協や天満屋百貨店での委託販売も行っている。サツマイモの収穫体験や一般参加を募っての岡山大学公開講座(育てて食べよう美味しい夏野

菜講座)も引き続き行っている。ともに岡山大学生涯学習事業として定着し好評である。

また、今年度は3月にグアム大学より教員・学生(教員2名、学生6名)が5泊6日の日程で岡山大学を訪れた。本センターではナスの接ぎ木体験等を行ったほか、瀬戸内市長船町にある‘うどん一文字’に案内し、小麦の生産について店主より説明と、うどん作り体験などを行った。

1) 果菜類

昨年度(2017年)に汎用ガラス温室に定植したイチゴ‘女峰’は春の病害虫の影響が少なく6月26日(2018年)まで収穫を行った。

2018年4月にイチゴ用のビニルハウス(350㎡)が新しく完成した。灌水システム、換気扇、暖房機、二酸化炭素発生装置を用いた複合環境制御となっている。本年度より、そこで「らくちん方式・高設式養液栽培」によるイチゴ栽培を行なった。本年は2品種、‘女峰’‘ゆめのか’を栽培した。イチゴの採苗と挿し苗は7月24日(2018年)に3回生実習で行った。定植は9月19日に中四国農場体験実習で行った。その後の栽培管理は2回生実習で2月初旬まで行った。初収穫は12月15日(2018年)であった。2月以降(2019年)のイチゴの管理作業は、グッドジョブ支援センターのスタッフが中心となって行った。

トマト栽培は汎用温室B棟(440㎡)で12cmポットによる栽培を行い、大塚A処方(2017年)の培養液栽培管理とした。春作は‘桃太郎ファイト’‘シンディースイート’‘エコスイート’の3品種を作付した。12月28日(2017年)に播種し、2月1日に35穴のすくすくトレーに移植し温床に入れて管理した。更に2月16日に12cmポットへ移植し温室内の暖房機夜温設定を10℃として管理した。春作は7月12日まで収穫を行った。コナジラミの発生がなく順調な生育であった。

秋作も‘桃太郎ファイト’‘シンディースイート’‘エコスイート’の3品種を栽培した。7月26日に

200穴プラグに播種し、10℃の冷蔵庫へ入れ8月6日に冷蔵庫より取り出し発芽をそろえた。8月30日に12cmポットへ定植した。11月9日に‘エコスイート’、11月14日に‘シンディースイート’11月19日に‘桃太郎ファイト’の初収穫を行い、1月28日(2019年)まで収穫した。1番果の‘桃太郎ファイト’は草勢が強く奇形果と果実の芯腐れが多発した。

汎用温室A棟では60cmプランターを利用した、キュウリの半促成栽培を行った。大塚A処方培養液栽培管理とした。3月26日に播種、4月11日にプランターへ定植した。5月14日から6月29日まで収穫した。品種は‘Vアーチ’を選定した。

ナスは1月18日に台木‘トナシム’を播種、1月29日に穂木となる‘長者’‘千両2号’‘くろわし’‘庄屋大長’‘ホワイトベル’‘衣川ナス’‘鶴見ナス’‘味しらかわ’の8品種を播種した。‘衣川ナス’‘鶴見ナス’は岡山県の伝統野菜品種である。3月15日に割り接ぎを行ない、4月23日に学生実習で畝立て、定植した。学生実習で整枝、誘引を行い3本仕立てとした。6月14日から10月3日まで収穫を行った。6月から7月に整枝の遅れで収穫量が例年より少なかった。9月上旬にはハスモンヨトウが多発した為、薬剤防除を行った。

ピーマンは8品種‘京鈴’‘伏見甘長’‘甘とう美人’‘鷹のツメ’‘京みどり’‘ニューエース’‘メガホン’の栽培を行った。3月2日に播種、4月2日に9cmポットに鉢上し、5月14日に学生実習で畝立て、定植を行った。4本仕立てとし、6月14日から10月3日まで収穫することができた。5月14日の定植時、数日前の降雨で圃場がぬかるんでいたが、学生実習で畝立て・定植を行った為に土が固くしまり、その後の圃場の排水性が悪くなった。8月中旬より白絹病が発生し始めた為、薬剤散布を行ったが、病気の発生は抑えることが出来なかった。

スイカの1作目は3月2日に穂木‘秀山’‘ブラックボール’‘紅まくら’‘夏爽赤’を播種、3月7日に台木‘FRきずな(かんぴょう)’を播種した。3月15日に呼び接ぎを行い4月16日に2回生実習でキャップを被せて定植した。2作目は3月28日に穂木‘オレンジヴォーノ’‘シュガームーン’‘夏武輝’‘豪夏’を播種し、4月2日に台木を播種した。

4月10日に3回生実習で呼び接ぎを行い、5月1日に定植を行った。2作目では、定植後に肥料袋を利用して行灯を作り、定植苗の生育促進を図った。4m幅平畝の西側に定植し4本整枝、2果獲りとした。3回生実習主体で定植から敷き藁・整枝、摘果を行った。しかし、7月7日の西日本豪時の4日間程度、畝間に水が溜まり、その後の晴天と急激な気温上昇が重なり、スイカの苗はほぼ枯死した。

カボチャは4月6日に播種し、5月14日に学生実習で定植を行った。‘はやと’‘打木早生赤栗’‘ロロン’‘えびす’‘ほっこり133’‘バターナッツ’‘夢見’‘つるなしやっこ’‘くりまさる’の9品種を栽培した。4m幅平畝の中心に定植し4本整枝とした。摘心、収穫等も学生実習で行った。豪雨の影響で苗が弱ったが、何とか果実を収穫することができた。

その他の瓜類として、‘冬瓜’‘青大長縞瓜’‘金瓜’の栽培を行い、直売所でも好評であった。

ハウスメロンの栽培では‘パパイヤ’‘ラブコール’の2品種を2月9日に播種し3月29日に黒マルチを張って定植を行った。定植直後は有孔ポリエチレンでトンネル被覆をした。整枝、摘果などの管理は学生実習で行い、‘パパイヤ’は2本仕立て一株で4個着果、‘ラブコール’は2本仕立て一株で2個着果とした。‘パパイヤ’の収穫適期は受粉日より40日～45日。‘ラブコール’の収穫適期は50日～55日である。‘パパイヤ’は6月21日か‘ラブコール’は7月9日から収穫した。

オクラは‘グリーンソード’を播種した。株間36cm、2条定植で、1穴に3粒播種とした。密植で生育が抑えられ休日後に出荷できない程度に成長するオクラは減少した。

2) 葉菜類

軟弱野菜のほうレンソウ・コマツナ・ミズナ・チンゲンサイ等は集約栽培を行っており、各作目とも春と秋に複数回作付けを行った。昨年度と同様に露地栽培を主体とし、全てマルチ栽培で行い、収穫が終了した跡地に他作目の作付けを行う等、作業の省力化にも努めた。収量と作付けの回数はコマツナ・ほうレンソウが最も多く、特にほうレンソウは直売所での販売が好評なため、他作目よりも重視して栽培を行った。ほうレンソウはベト病R1～8に抵抗

性のある‘ミストラル’を主に栽培を行い、加えて出荷期間をより長く確保するため、晩抽性品種の‘晩抽サマースカイ’等も栽培を行った。春作においては生育に問題は無く、晩抽性品種の導入によって出荷期間も長く確保でき、非常に好評であった。一方、秋作においては、高温の影響で発芽不良となる区も見られたが概ね生育は良好で、11月以降も比較的気温の高い暖冬の影響もあって生育が鈍化することもなく、順調に収穫を行うことができた。

レタスは、従来栽培している結球タイプの‘シスコ’‘ダイヤモンド’、非結球タイプの‘レッドウェーブ’‘晩抽レッドファイヤー’‘グリーンウェーブ’‘グリーンジャケット’の計6品種に加え、結球タイプの‘エクセル’、ロメインレタスの‘コスレタス’、サラダ菜の‘岡山サラダ菜’の3品種を新たに導入した。春・秋作共に定期的に病害虫防除を行ったことで欠株はほぼ見られず、品種を増やしたことで例年より長期に渡って栽培・出荷を行うことができた。

ハクサイは‘無双’‘黄ごころ80’‘黄ごころ90’の3品種を栽培した。近年、芯腐れ症等の生理障害が発生しやすい傾向にあるため、昨年と同様に施肥内容を見直し、イオウ欠乏対策や緩効性窒素量の増加、微量要素の施用など新たな施肥設計で栽培を行った。加えて菌核病や軟腐病などの対策として、罹病株の早期除去や適宜防除にも努めた。しかし、圃場の排水不良や土質の影響によって、上記の改善を行ったにも関わらず例年と同様に生理障害が発生する傾向にあった。次年度は作付け場所や施肥内容、防除体系について再考して栽培を行いたい。

カンランは春と秋の年2回作付けを行った。春作は抽台が早く生じるため収穫適期が短く、腐敗も発生しやすいことから栽培面積を少なくし、収穫期が比較的長く、腐敗が起きにくい秋作を主体に栽培を行っている。春作は‘グリーンボール’‘彩峰’‘金系201号’の3品種を栽培した。例年生育後半に肥切れが発生しやすいことから、今年度は長期に渡って肥効が安定するよう施肥設計を行った結果、非常に良好な生育となった。加えて、適宜防除にも努めたことで病害虫による被害も見られず、販売所でも好評であった。秋作は例年栽培している‘おきな’‘湖月SP’‘湖水’に加えて、出荷時期に幅を持たせるため、耐暑性が強い‘初秋’を試験的に導入した。

7月末以降の高気温の影響で、発芽不良となる区が見られたものの、遮光や灌水を適宜行うことで発芽は良好となり、その後の生育も旺盛であった。今年度は比較的気温の高い暖冬の影響もあって、11月以降も生育が進み、全ての区で大玉となる傾向が見られた。また、試験的に導入した‘初秋’について、例年出荷することができない10月収穫が可能となり、より長期に渡って出荷を行えるようになった。次年度においても、引き続き良質なカンランとなるよう、肥培管理の更なる改善や新規品種の導入等に努めていきたい。また、カンランについては、秋に定植を行い、翌春の2月収穫となる作付けを試験的に行っている。今年度は、‘彩音’‘夢舞台’‘冬藍’‘春系687’‘晩抽冬982’の晩生品種5品種を作付けしたが、定植時期（2017年度秋）が曇天続きで圃場準備が一切行えず、定植が遅れた。その結果、収穫予定の2018年2月になっても結球が進まず、全ての品種で抽台が発生し収穫を行うことができなかった。この結果を踏まえて、今年度定植分（2019年早春収穫分）については余裕を持って圃場準備を行い、‘彩音’の他5品種の作付けを行った。次年度についても定植時期を厳守し、品種特性を十分把握した上で作付けを行っていきたい。

ブロッコリーは、春作は収穫適期が短いため、主に秋作主体で栽培を行っている。品種は頂花蕾と脇芽が収穫可能な‘ハイツSP’を主とし、脇芽の伸長が緩慢となる冬季収穫用として頂花蕾専用の‘グリーンパラソル’‘キャッスル’‘グリーンキャノン’を試験的に栽培した。7月末以降の高気温の影響で、発芽不良となる区が見られたものの、その後の生育は非常に旺盛で、良質なブロッコリーを収穫することができた。加えて、試験的に導入した3品種について、収穫サイズが大きいことから販売所でも大変好評であると共に、霜にも強いことから長期に渡って出荷を行うことができた。次年度についても新規品種の導入や栽培管理の更なる改善を通して、今作以上の収穫ができるよう努めていきたい。また、ブロッコリーは上述したカンランと同様、秋に定植を行い、翌春の2月収穫となる作付けを試験的に行っている。今年度は‘グリーンビューティー’‘グラウンドーム’‘チャレンジャー’の3品種を試験的に作付けしたが、定植時期（2017年秋）が曇天続きで

圃場準備が一切行えず、定植が遅れてしまった。定植後も気温の低下によって生育が緩慢となり、2018年3月から収穫が行えたものの、出荷サイズが小さく揃いも悪かった。この結果を踏まえて、今年度定植分（2019年早春収穫分）については余裕を持って圃場準備を行い、‘グリーンビューティー’ ‘エンデバー SP’ ‘ともえ’ ‘みよ緑3号’の作付けを行った。適期に定植が行えたことや暖冬の影響もあって生育は非常に良好で、‘グリーンビューティー’については既に収穫を開始しており、他3品種についても随時収穫予定となっている。次年度についても定植時期を厳守し、品種特性を十分把握した上で作付けを行っていききたい。

カリフラワーは、秋作のみ栽培をおこなっている。昨年度、霜の影響で花蕾が黄化する他、軟腐病が多発する傾向にあったため、今年度は従来栽培している‘スノークラウン’に加えて、包葉性の強い‘ホワイトキャンディ’ ‘スノーニューダイヤ’を試験的に導入し作付けを行った。暖冬の影響もあって、定植後の生育はどれも良好で、適宜防除を行ったことで軟腐病をはじめ病害虫による被害は一切見られなかった。また、新規品種を導入したことで花蕾が黄化することも無くなり、収穫サイズも大玉となったことで、販売所で大変好評であった。次年度も引き続き新規品種の導入、徹底した防除体系で栽培を行いたい。

セルリーはハウス栽培で‘トップセラー’のみ作付けを行った。例年はプラ箱にスジ播きし、適宜80穴カセット式育苗箱（シードルポット）に鉢上げを行っていたが、鉢上げ後の生育が悪く、枯死する株も多く見られたため、今年度は80穴カセット式育苗箱（シードルポット）に直接播種して育苗を行った。その結果、枯死する株はほとんど見られず、良質な苗を作ることができた。また、緩行性肥料の増加や微量要素の施用などの肥培管理についても改良を行ったことで、定植後の生育も非常に良好で、暖冬の影響もあって11月中に出荷を行うことができ、販売所でも好評であった。しかし、生育が良すぎたため、6月上旬に播種を行ったセルリーの出荷に、約1ヶ月間隔をあけて播種を行った2作目のセルリーの出荷が追いついてしまい、ハウス内で滞る傾向が見られたため、次年度については播種を複数回

にわけ、収穫適期にスムーズな出荷が行えるよう努めたい。

ネギは、例年栽培している‘九条太’と‘赤ひげ’に加えて、リーキの‘ポワロ’を栽培した。播種は4月13日と4月24日に行った。‘九条太’は細ネギ・中ネギとしても利用しており、6月6日から7月25日までは細ネギとして収穫を行った。中ネギ栽培はエダマメ栽培収穫後のマルチフィルム畦を利用し、学生実習などで7月4日から8月9日にかけて定植を行い、8月21日から12月5日まで収穫を行った。‘九条太’ ‘赤ひげ’ ‘ポワロ’の本畑定植は、8月7日にくらしき作陽大学の共同利用実習にて行い、12月10日から収穫を行った。以前、本畑ネギではべと病や軟腐病等の多くの病害が多発していたが、今年度は定植時の苗の殺菌（トリフミン50倍液の根部浸漬）のほか、土寄せ時に殺菌剤（オリゼメート粒剤）の散布、生育期の適宜薬剤防除や圃場内の明渠作成等を行ったことで、病害虫による被害は見られず、品質・収量ともに良好なネギとなった。来年度においても引き続き同様の管理方法で良質なネギとなるよう心がけていきたい。

タマネギは極早生葉付きたまねぎの‘立春のかほり’ ‘フォーカス’、極早生‘スパート’ ‘マッハ’、中生‘ソニック’、中晩生‘ターボ’ ‘猩々赤’、晩生‘ネオアース’を栽培した。播種床は土壤消毒剤を散布し、1カ月間黒マルチで被覆した。極早生葉付きたまねぎを9月4日（2017年）に播種し、11月2日（2017年）に定植、収穫は2月27日（2018年）から行った。今年度は例年より早い収穫となった。‘スパート’ ‘マッハ’は9月11日（2017年）播種し収穫は4月27日（2018年）に行った。‘ソニック’は9月20日（2017年）播種し、収穫は5月14日（2018年）であった。‘ターボ’ ‘猩々赤’ ‘ネオアース’は9月25日（2017年）から10月3日（2017年）に播種し、収穫は6月4日（2018年）からであった。播種床から本圃への移植及び収穫、吊り玉作業を学生実習で行った。べと病・白色疫病などの予防散布を定期的に行った。追肥は1月、2月の中旬に行った。保存については、吊り玉保存と冷蔵庫保管を行うことで、2月末（2018年）から12月（2018年）までタマネギの販売を行った。しかし、タマネギを床へ広げ、扇風機をあてて保存しているものについては、8月上旬より腐敗が始まり、

廃棄するものが多くあった。また晩生‘ネオアース’で12月8日(2017年)に200穴プラグトレーに播種し、温床で発芽後、下穴から根が出る程度に成長したところでビニールハウス内にプラグトレーを土へ直置きして育苗し、2月9日(2018年)にマルチ畝に定植する栽培体系も行った。2月の定植時は細く短い苗ではあるが、野球ボール程度の大きさで6月13日に収穫をした。プラグトレーでの苗管理を行うことができれば、2月まで定植を遅らせることが可能となり、農閑期に作業を行うことができるメリットがある。来年度も2月植え定植を継続していく予定である。

また夏の葉物として‘クウシンサイ’‘ツルムラサキ’‘モロヘイヤ’を栽培した。

3) 根菜類

カンショは‘ベニアズマ’と‘コガネセンガン’の2品種を栽培した。5月14日と5月22日に‘ベニアズマ’を2000本、‘コガネセンガン’500本ずつをフィールド基礎実習にて定植し、6月15日と6月22日に本畑から採取した苗の定植を行った。例年多く見られているつる割れ病対策として、前年に引き続き、定植直前の苗はベンレート水和剤による苗基部浸漬処理を行い、定植後は適宜巡回を通して罹病株の除去と補植を行った。また、部分的にはあるが、茎頂培養によって作成したウイルスフリー苗も導入し、欠株の減少に努めた。また、6月中旬からハスモンヨトウによる食害が出始めたため、農薬散布も随時行った。その結果、食害による被害は少なく、‘つる割れ病’もある程度は抑えることができた。‘ベニアズマ’は幼稚園などのイモ掘りと販売に供し、‘コガネセンガン’は「おお岡大焼酎」の原料に供し共に好評を得た。ただ、少数ではあるが内部褐変症と思われるイモが見られたため、次年度は発生減少に向けて施肥内容を再考してゆきたい。

サトイモは、従来栽培している‘石川早生’‘エグイモ’‘赤芽大吉’に加えて、試験的に‘タケノコイモ’の作付けを行った。本圃への植え付けは4月6日と4月10日に行った。また、3月23日に種イモをポリポットに植え付け、ハウス内で芽出しをした苗をフィールド基礎実習で5月15日に定植も

行った。種イモは、芋の分割が極力少なくなるよう子芋を主に使用したこととで、欠株はほとんど見られなかった。生育に合わせて適宜追肥、土寄せを行い、夏季は畦間灌水を随時行ったことで生育は非常に旺盛であった。収穫は必要分を随時掘り出して出荷調整・販売を行った。生育が良好であったことからイモの肥大も良く増収となった。‘タケノコイモ’について、栽培上大きな問題も無く、他3種と比べて非常に大きなイモとなることから、販売所でも注目を集めていた。ただ、イモが垂直に大きくなりすぎることから機械化できない作業があるため、次年度は手作業で管理が行える程度の面積で作付けを行いたい。

バレイショは、春作は‘ダンシャク’‘メークイン’‘デジマ’‘アンデス’‘キタカアリ’‘ニシユタカ’の6品種を栽培した。湿害対策として全て高畦栽培とし、3月13日に植え付けを行い、植えつける際は遅霜対策として深さ20cmで植え付けを行った。高畦の効果や圃場に明渠を設け、排水性が良好であったこともあり、欠株が少なく成育も良好であった。‘ダンシャク’と‘メークイン’は4月19日、20日に2芽となるよう芽かきを行い、4月20日に全品種土寄せを行った。収穫は6月5日と6月18日に農場実習にて行ったが、いずれの品種も多収傾向にあった。秋作は‘デジマ’‘アンデス’‘キタカアリ’‘ニシユタカ’の4品種を栽培した。こちらも高畦栽培とし、9月6日と9月11日に植え付けを行った。例年、秋作は品種によって出芽に差が生じる傾向にあることから、今年度は植え付け前に浴光催芽を十分に行い、出芽を揃えるよう努めた。しかし、植え付け後の雨天続きと圃場の排水性不良、高気温の影響で多くの種イモが土壤中で腐敗してしまい、全ての品種で発芽不良となった。種イモを追加購入し対応は行ったものの、全体的に大きく減収した。次年度においては、春作は現状維持とし、秋作については圃場の排水性向上を徹底し作付けを行いたい。

ダイコンは、春作は‘つや風’‘耐病総太り二号’‘辛之介’の3品種を栽培した。3月7日から約10日間隔で播種を行い、播種後は不織布(パオパオ)のベタ掛けを行い鳥害対策とした。収穫は5月8日から適宜収穫を行った。春作は例年、白サビ病が発生

しやすいため、今年度も適宜殺菌剤散布に心がけた。その結果、白サビ病はほとんど見られなくなり、良質なダイコンを継続して収穫することができた。しかし、圃場の一部で地下部をキスジノミハムシの幼虫による食害を受ける箇所が見られた。秋作は‘耐病総太り’‘耐病宮重’‘干し理想’の3品種とし、8月28日から約10日間隔で播種を行い、春作と同様に不織布（パオパオ）のベタ掛けを行い鳥害対策とした。収穫は10月29日から行った。春作で見られた虫害の結果を踏まえ、秋作ではダイアジノン粒剤5を使用し作付けを行った。播種後の高気温の影響で発芽不良が懸念されたが、不織布のベタ掛けを行ったことと降雨が続いたことで湿度が保たれた結果、発芽は良好であった。更に気温が高く推移したことで生育は旺盛となり、良質なダイコンを順次収穫することができた。また、ダイコンは春作・秋作のほか、翌年早春収穫用（3月から4月収穫）として、ハウス内で春神楽’‘大師’‘耐病総太り二号’‘つや風’の作付けも行った。播種は2017年12月から行い、その後の生育に問題は見られず、収穫は2018年3月から順次行った。例年、3月頃は販売物が少なくなるため、販売所でも大変好評であった。ただ、ダイコンを栽培しているハウスの次作の作付け（ネギの苗床）が4月から開始するため、短期間で収穫を終えなければならなかった。この結果を踏まえて、翌春収穫用（2019年3月収穫）のハウス内ダイコンは、‘耐病総太り二号’を2018年11月15日に播種し、余裕を持って収穫できるよう作付けを行っている。

ニンジンには春と秋の2回作付けを行っている。春作は‘向陽二号’を主とし、試験的に‘愛交時無五寸人参’‘紅かおり’を栽培した。2月27日から順次播種を行い、5月28日から適宜収穫を行った。生育は良好で、病害虫も見られず収量も良好であった。試験的に導入した2品種については、4月上旬播種では抽台の恐れがある‘向陽二号’の代わりに使用した。収穫は7月中旬に行ったが、どちらの品種も抽台することなく収穫を行うことができた。秋作は‘向陽二号’‘高農真紅金時’の2品種で栽培を行い、8月20日から播種を行い、10月29日から適宜収穫を行った。播種後の高気温の影響で発芽不良が懸念されたが、降雨が続いたことと圃場に明渠を作成したことで適湿となり、発芽は良好であった。

また、気温が高く推移したことで生育は旺盛となり、良質なニンジンも順次収穫することができた。

4) 豆類・スイートコーン

エダマメは‘サッポロミドリ’‘宝石’‘サヤムスメ’‘福成’‘湯上がり娘’‘岩手みどり’‘丹波黒’の7品種で栽培を行った。全て80穴カセット式育苗箱（シードポット）を使用した移植栽培で行い、‘サッポロミドリ’‘宝石’‘サヤムスメ’‘福成’‘湯上がり娘’は、1穴に対して2粒播き、‘岩手みどり’‘丹波黒’は1穴に対して1粒播きとし、3月6日から7月6日まで順次播種と定植を行い、6月15日から11月8日まで収穫を行った。例年、ハスモンヨトウやカメムシによる被害が見られるため、圃場巡回と農薬散布に努めたことで生育はいずれも良好で、多収傾向となった。エダマメは販売所でも大変好評な品目の一つであるため、今後も高収量・品質が維持できるよう管理を徹底していきたい。

落花生は‘オオマサリ’を栽培した。生分解性マルチを使用し、株間70cm、1条定植した。8月中旬以降で白絹病が多発した為、薬剤散布で対応した。落花生の収穫量は例年と比べると増収となった。

スイートコーンは、‘カクテル600’‘おおもの’‘キャンペラ90EX’‘ピュアホワイト’‘ホワイトレディー’の5品種を栽培した。例年、鳥害対策として128穴セルトレイを用いた移植栽培を行っていたが、収穫サイズがやや小さくなる傾向にあったため、今年度は種子を直接圃場に播種する直播も行った。播種はハウス栽培用の2月23日から露地栽培用の5月22日まで行い、収穫は6月1日から8月3日まで行った。播種直後や収穫間際に鳥による被害が懸念されたが、防鳥ネットを適宜設置したことで被害は見られなかった。また、アワノメイガによる被害を抑えるため農薬散布も定期的に行った。その結果、収量は良好となり、販売所でも高評価であった。また、直播の方が収穫サイズはやや大きくなる傾向となった。来年度も鳥害・虫害対策に重点を置き、多収となるよう栽培方法や施肥内容について検討していきたい。

5) 花き

露地キクは主に冬至芽の移植栽培を行なってい

る。今年は4月5日から4月9日の間に行った。4月9日は学生実習で、冬至芽を採取し畑に直接定植した。電照キクは輪菊とスプレーマムを栽培し、例年どおり8月中旬に定植した。‘セイスナップ’ ‘ローズ舞風車’ は伸長が旺盛なため、定植を遅らせ8月末に行った。電照は9月上旬より開始し、12月15日の出荷を目標としているため10月15日で打ち切った。10月中旬にアブラムシが多発した為、薬剤散布を行った。12月25日に収穫した。

花苗は花壇苗をポットで栽培している。少量多品種で季節に合わせた花を栽培している。春の花苗生産は、1月から3月の農閑期と花の播種時期が重なるため、冬季の仕事として最適である。直売所で花苗販売が定着し好評であった。秋作は、パンジー・ビオラ・ハボタンを栽培している。また、ブルーデージーなど栄養系品種を10月に挿し、翌年のポット苗として栽培を行った。岡山大学事務局棟及び農学部4号館の花壇に、農場で生産した‘ペチュニア’ (6

月) ‘パンジー’ (11月) の定植をした。

6) 水耕栽培

汎用温室A棟は、昨年続きパイプと防草シート及びPOフィルム (ハクリヨク0.15×2m×30m) で水を溜めるプールを作り水耕栽培を行った。水耕栽培用の穴の開いた発泡スチロール (64穴) を浮かべ、種は水耕栽培用の発泡ウレタンに直播し、温床で発芽させた。発芽した後に発泡スチロールの穴に移植した。培養液は大塚A処方 (EC1.2mS~1.8mS) とした。また水耕プールに溜めた培養液は酸素供給を目的に水中ポンプを使用し30分間隔で循環させた。コマツナの栽培で1作目は10月31日播種し、12月17日に収穫を行う事が出来た。計画的に播種することで、10末月から4月上旬までに4作栽培が可能であった。コマツナの他、‘クレソン’ ‘スープセロリ’ ‘ミツバ’ の水耕栽培も行った。

(宮地 大介, 谷岡 浩史)

野菜花卉部門耕種概要 2018年度 (平成30年4月~平成31年3月)

| 作目 | 圃場 | 面積 (a) | 品種 | 畦間 (cm) | 株間 (cm) | 播種 (月日) | 定植 (月日) | 収穫 (始) | 収穫 (終) | 備考 |
|-------------|-------|--------|-----------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|-----------|
| カンショ(1) | 南1 | 7.2 | 紅アズマ | 130 | 25 | ———— | 5月14日 | 10月2日 | 10月15日 | 農場実習にて定植 |
| カンショ(2) | 南1 | 7.2 | 紅アズマ | 130 | 25 | ———— | 5月22日 | 10月16日 | 10月18日 | 農場実習にて定植 |
| カンショ(3) | 南1 | 6.0 | 紅アズマ | 130 | 25 | ———— | 6月15日 | 10月18日 | 11月9日 | |
| カンショ(4) | 南1 | 1.8 | 黄金千貫 | 130 | 25 | ———— | 5月14日 | 11月16日 | 11月16日 | 農場実習にて定植 |
| カンショ(5) | 南1 | 1.8 | 黄金千貫 | 130 | 25 | ———— | 5月22日 | 11月20日 | 11月20日 | 農場実習にて定植 |
| カンショ(6) | 南1 | 0.6 | 黄金千貫 | 130 | 25 | ———— | 6月22日 | 11月16日 | 11月16日 | |
| エダマメ(1) | 西5 | 1.8 | サッポロミドリ | 65 | 20 | 3月6日 | 3月26日 | 6月15日 | 6月21日 | |
| エダマメ(2) | 西5 | 1.8 | サッポロミドリ | 65 | 20 | 3月16日 | 4月3日 | 6月25日 | 6月27日 | |
| エダマメ(3) | 西5 | 1.2 | 宝石 | 65 | 20 | 3月30日 | 4月17日 | 7月2日 | 7月2日 | 農場実習にて定植 |
| エダマメ(4) | 西5 | 0.8 | サヤムスメ | 65 | 20 | 4月11日 | 4月26日 | 7月9日 | 7月11日 | |
| エダマメ(5) | 西3 | 0.8 | サヤムスメ | 65 | 20 | 4月11日 | 4月27日 | 7月12日 | 7月12日 | |
| エダマメ(6) | 西3 | 1.6 | サヤムスメ | 65 | 20 | 4月24日 | 5月10日 | 7月17日 | 7月18日 | |
| エダマメ(7) | 西3 | 1.5 | サヤムスメ | 65 | 20 | 5月7日 | 5月18日 | 7月24日 | 7月25日 | |
| エダマメ(8) | 西3 | 1.5 | 福成 | 65 | 20 | 5月18日 | 5月29日 | 7月31日 | 7月31日 | |
| エダマメ(9) | 西3 | 1.2 | 湯上がり娘 | 65 | 20 | 6月1日 | 6月12日 | 8月6日 | 8月7日 | |
| エダマメ(10) | 南3 | 0.8 | 岩手みどり | 130 | 30 | 6月30日 | 7月11日 | 10月10日 | 10月29日 | |
| エダマメ(11) | 南3 | 0.8 | 岩手みどり | 130 | 30 | 7月6日 | 7月18日 | 10月19日 | 10月29日 | |
| エダマメ(12) | 南3 | 1.0 | 丹波黒 | 130 | 50 | 7月6日 | 7月18日 | 10月24日 | 11月8日 | |
| スイートコーン(1) | ハウス西4 | 0.5 | ビュアホワイト | 65 | 40 | 2月23日 | 3月23日 | 6月1日 | 6月8日 | 移植栽培 |
| スイートコーン(2) | ハウス西4 | 1.0 | ホワイトレディー | 65 | 40 | 2月23日 | 3月23日 | 5月30日 | 6月8日 | 移植栽培 |
| スイートコーン(3) | ハウス西1 | 1.5 | ホワイトレディー | 65 | 40 | 3月6日 | 3月29日 | 6月11日 | 6月15日 | 移植栽培 |
| スイートコーン(4) | 南2 | 1.0 | カクテル600 | 65 | 40 | 3月16日 | 4月5日 | 6月18日 | 6月22日 | 移植栽培 |
| スイートコーン(5) | 南2 | 2.0 | カクテル600 | 65 | 40 | 3月30日 | 4月16日 | 6月22日 | 6月29日 | 移植栽培 |
| スイートコーン(6) | 南2 | 0.6 | カクテル600 | 65 | 40 | 3月30日 | 4月20日 | 7月2日 | 7月3日 | 移植栽培 |
| スイートコーン(7) | 南2 | 1.8 | おおもの | 65 | 40 | 4月11日 | ———— | 7月5日 | 7月11日 | 直播栽培 |
| スイートコーン(8) | 南2 | 0.6 | おおもの | 65 | 40 | 4月23日 | ———— | 7月12日 | 7月18日 | 直播栽培 |
| スイートコーン(9) | 南2 | 0.6 | キャンベラ90EX | 65 | 40 | 4月23日 | ———— | 7月12日 | 7月18日 | 直播栽培 |
| スイートコーン(10) | 南2 | 1.8 | キャンベラ90EX | 65 | 40 | 5月9日 | ———— | 7月19日 | 7月25日 | 直播栽培 |
| スイートコーン(11) | 南2 | 1.2 | キャンベラ90EX | 65 | 40 | 5月22日 | ———— | 7月30日 | 8月3日 | 直播栽培 |
| スイートコーン(12) | 南ハウス | 2 | ホワイトレディー | 65 | 30 | 4月16日 | ———— | 6月21日 | 7月5日 | 直播栽培 |
| スイートコーン(13) | 西1 | 0.5 | キャンベラ90EX | 65 | 35 | 7月26日 | ———— | 10月5日 | 10月5日 | 直播栽培 |
| ポップコーン(12) | 西1 | 0.5 | ポップコーン | 65 | 36 | 3月26日 | 4月17日 | 7月13日 | 7月13日 | |
| 春カンラン(1) | 西3 | 0.5 | グリーンボール | 65 | 30 | 2月2日 | 3月7日 | 5月14日 | 5月30日 | |
| 春カンラン(2) | 西3 | 0.5 | 彩峰 | 65 | 30 | 2月9日 | 3月20日 | 6月8日 | 6月21日 | |
| 春カンラン(3) | 西3 | 0.5 | 彩峰 | 65 | 30 | 2月9日 | 3月28日 | 6月8日 | 6月21日 | |
| 春カンラン(4) | 西3 | 0.8 | グリーンボール | 65 | 30 | 2月16日 | 3月28日 | 5月22日 | 6月11日 | |
| 春カンラン(5) | 西3 | 0.3 | 金系201号 | 65 | 30 | 2月16日 | 3月28日 | 5月28日 | 6月21日 | |
| 秋カンラン(1) | 南2 | 0.3 | 初秋 | 65 | 30 | 7月9日 | 8月7日 | 10月1日 | 10月30日 | |
| 秋カンラン(2) | 南2 | 0.3 | おきな | 65 | 30 | 7月27日 | 8月30日 | 11月2日 | 12月17日 | 高温のため発芽不良 |
| 秋カンラン(3) | 南2 | 0.6 | おきな | 65 | 30 | 8月7日 | 8月30日 | 11月2日 | 12月17日 | |

| 作目 | 圃場 | 面積(a) | 品種 | 畦間(cm) | 株間(cm) | 播種(月日) | 定植(月日) | 収穫(始) | 収穫(終) | 備考 |
|---------------|--------|-------|------------|--------|--------|------------------|-------------------|-------------------|------------------|----------------|
| 秋カンラン(4) | 南2 | 1.2 | 湖月SP | 65 | 40 | 8月17日 | 9月11日 | 12月3日 | 1月25日 (2019年) | |
| 秋カンラン(5) | 南2 | 1.2 | 湖水 | 65 | 40 | 8月24日 | 9月14日 | 12月5日 | 2月4日 (2019年) | |
| 冬越しカンラン(1) | 南1 | 1.0 | 湖月SP | 65 | 40 | 8月10日 (2017年) | 9月11日 (2017年) | 12月11日 (2017年) | 2月16日 (2018年) | |
| 冬越しカンラン(2) | 南1 | 1.0 | 湖月SP | 65 | 40 | 8月24日 (2017年) | 9月20日 (2017年) | 1月22日 (2018年) | 3月1日 (2018年) | |
| 冬越しカンラン(3) | 南1 | 0.6 | 湖水 | 65 | 40 | 8月24日 (2017年) | 9月20日 (2017年) | 1月15日 (2018年) | 3月2日 (2018年) | |
| 冬越しカンラン(4) | 南3 | 0.2 | 彩音 | 65 | 40 | 8月30日 (2017年) | 10月25日 (2017年) | 4/2抽台発生 | 収穫できず | 雨天続きのため定植が遅れた |
| 冬越しカンラン(5) | 南3 | 0.2 | 夢舞台 | 65 | 40 | 8月30日 (2017年) | 10月25日 (2017年) | 4/2抽台発生 | 収穫できず | 雨天続きのため定植が遅れた |
| 冬越しカンラン(6) | 南3 | 0.2 | 冬藍 | 65 | 40 | 8月30日 (2017年) | 10月25日 (2017年) | 4/2抽台発生 | 収穫できず | 雨天続きのため定植が遅れた |
| 冬越しカンラン(7) | 南3 | 0.3 | 春系687 | 65 | 40 | 8月30日 (2017年) | 10月25日 (2017年) | 4/2抽台発生 | 収穫できず | 雨天続きのため定植が遅れた |
| 冬越しカンラン(8) | 南3 | 0.3 | 晩抽冬982 | 65 | 40 | 8月30日 (2017年) | 10月25日 (2017年) | 4/2抽台発生 | 収穫できず | 雨天続きのため定植が遅れた |
| 新冬越しカンラン(1) | 南3 | 0.2 | 彩音 | 65 | 40 | 8月17日 (2018年) | 9月21日 (2018年) | 2月13日 (2019年) | 収穫継続中 | |
| 新冬越しカンラン(2) | 南3 | 0.2 | 夢舞台 | 65 | 40 | 8月17日 (2018年) | 9月21日 (2018年) | 2月12日 (2019年) | 収穫継続中 | |
| 新冬越しカンラン(3) | 南3 | 0.2 | 夢ごろも | 65 | 40 | 8月17日 (2018年) | 9月21日 (2018年) | 次年度収穫予定 | | |
| 新冬越しカンラン(4) | 南3 | 0.2 | 冬藍 | 65 | 40 | 8月17日 (2018年) | 9月21日 (2018年) | 2月5日 (2019年) | 収穫継続中 | |
| 新冬越しカンラン(5) | 南3 | 0.2 | YR冬親方 | 65 | 40 | 8月17日 (2018年) | 9月21日 (2018年) | 次年度収穫予定 | | |
| 新冬越しカンラン(6) | 南3 | 0.2 | YR銀次郎 | 65 | 40 | 8月17日 (2018年) | 9月21日 (2018年) | 次年度収穫予定 | | |
| 芽キャベツ | 南2 | 0.6 | 早生子持 | 65 | 50 | 7月9日 | 8月7日 | 12月25日 | 収穫継続中 | |
| 春ブロッコリー(1) | 西3 | 0.5 | ハイツSP | 65 | 40 | 2月16日 | 3月28日 | 5月22日 | 5月30日 | |
| 春ブロッコリー(2) | 西1脇ハウス | 0.5 | ハイツSP | 65 | 40 | 2月16日 | 3月28日 | 5月22日 | 6月11日 | |
| 春ブロッコリー(3) | 西3 | 0.8 | ハイツSP | 65 | 40 | 2月16日 | 4月4日 | 5月29日 | 6月11日 | |
| 秋ブロッコリー(1) | 南2 | 0.1 | ハイツSP | 65 | 40 | 7月27日 | 8月30日 | 11月5日 | 1月9日 (2019年) | 高気温のため発芽不良 |
| 秋ブロッコリー(2) | 南2 | 0.5 | ハイツSP | 65 | 40 | 8月7日 | 8月30日 | 11月5日 | 1月9日 (2019年) | 頂花蕾収穫後、順次脇芽を収穫 |
| 秋ブロッコリー(3) | 南2 | 0.6 | ハイツSP | 65 | 40 | 8月17日 | 9月11日 | 11月13日 | 1月9日 (2019年) | 頂花蕾収穫後、順次脇芽を収穫 |
| 秋ブロッコリー(4) | 南2 | 0.2 | グリーンパラソル | 65 | 40 | 8月17日 | 9月11日 | 11月28日 | 12月12日 | |
| 秋ブロッコリー(5) | 南2 | 0.2 | キャッスル | 65 | 40 | 8月17日 | 9月11日 | 12月3日 | 12月21日 | |
| 秋ブロッコリー(6) | 南2 | 0.2 | グリーンキャノン | 65 | 40 | 8月17日 | 9月11日 | 12月12日 | 1月7日 (2019年) | |
| 秋ブロッコリー(7) | 南2 | 0.6 | ハイツSP | 65 | 40 | 8月24日 | 9月20日 | 12月10日 | 1月9日 (2019年) | 頂花蕾収穫後、順次脇芽を収穫 |
| 冬越しブロッコリー(1) | 南1 | 0.6 | ハイツSP | 65 | 40 | 8月3日 (2017年) | 9月5日 (2017年) | 11月10日 (2017年) | 2月20日 (2018年) | 頂花蕾収穫後、順次脇芽を収穫 |
| 冬越しブロッコリー(2) | 南1 | 0.6 | ハイツSP | 65 | 40 | 8月18日 (2017年) | 9月20日 (2017年) | 1月22日 (2018年) | 2月28日 (2018年) | |
| 冬越しブロッコリー(3) | 南1 | 0.6 | ハイツSP | 65 | 40 | 8月30日 (2017年) | 9月26日 (2017年) | 2月5日 (2018年) | 3月7日 (2018年) | |
| 冬越しブロッコリー(4) | 南1 | 0.6 | ハイツSP | 65 | 40 | 9月6日 (2017年) | 10月5日 (2017年) | 2月9日 (2018年) | 3月13日 (2018年) | |
| 冬越しブロッコリー(5) | 南3 | 0.3 | グリーンビューティー | 65 | 40 | 8月30日 (2017年) | 10月25日 (2017年) | 3月26日 (2018年) | 3月30日 (2018年) | |
| 冬越しブロッコリー(6) | 南3 | 0.3 | グランドーム | 65 | 40 | 8月30日 (2017年) | 10月25日 (2017年) | 3月26日 (2018年) | 3月30日 (2018年) | |
| 冬越しブロッコリー(7) | 南3 | 0.3 | チャレンジャー | 65 | 40 | 9月12日 (2017年) | 10月25日 (2017年) | 3月26日 (2018年) | 3月30日 (2018年) | |
| 新冬越しブロッコリー(1) | 南3 | 0.3 | グリーンビューティー | 65 | 40 | 8月17日 | 9月27日 | 1月7日 (2019年) | 1月30日 (2019年) | |
| 新冬越しブロッコリー(2) | 南3 | 0.3 | エンデバー SP | 65 | 40 | 8月17日 | 9月27日 | 次年度収穫予定 | | |
| 新冬越しブロッコリー(3) | 南3 | 0.2 | ともえ | 65 | 40 | 8月17日 | 9月27日 | 次年度収穫予定 | | |
| 新冬越しブロッコリー(4) | 南3 | 0.2 | みよ緑3号 | 65 | 40 | 8月17日 | 9月27日 | 次年度収穫予定 | | |
| 茎ブロッコリー(1) | 南1 | 0.6 | グリーンボイス | 65 | 40 | 8月9日 (2017年) | 9月11日 (2017年) | 11月7日 (2017年) | 2月22日 (2018年) | 頂花蕾収穫後、順次脇芽を収穫 |
| 茎ブロッコリー(2) | 南2 | 0.3 | グリーンボイス | 65 | 40 | 8月7日 | 8月30日 | 10月18日 | 1月22日 (2019年) | |
| 茎ブロッコリー(3) | 南2 | 0.3 | グリーンボイス | 65 | 40 | 8月17日 | 9月11日 | 10月25日 | 1月22日 (2019年) | |
| カリフラワー(1) | 南1 | 0.6 | スノークラウン | 65 | 40 | 8月3日 (2017年) | 9月5日 (2017年) | 11月10日 (2017年) | 1月5日 (2018年) | |
| カリフラワー(2) | 南1 | 0.6 | スノークラウン | 65 | 40 | 8月18日 (2017年) | 9月20日 (2017年) | 1月22日 (2018年) | 2月19日 (2018年) | |
| カリフラワー(3) | 南1 | 0.6 | スノークラウン | 65 | 40 | 8月30日 (2017年) | 9月27日 (2017年) | 2月15日 (2018年) | 2月23日 (2018年) | |

| 作目 | 圃場 | 面積(a) | 品種 | 畦間(cm) | 株間(cm) | 播種(月日) | 定植(月日) | 収穫(始) | 収穫(終) | 備考 |
|--------------|--------|-------|------------|--------|--------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|-------------------------|
| カリフラワー(4) | 南1 | 0.6 | スノークラウン | 65 | 40 | 9月6日 (2017年) | 10月5日 (2017年) | 2月26日 (2018年) | 3月6日 (2018年) | |
| カリフラワー(5) | 南2 | 0.3 | スノークラウン | 65 | 40 | 8月7日 | 8月30日 | 11月8日 | 12月17日 | |
| カリフラワー(6) | 南2 | 0.6 | スノークラウン | 65 | 40 | 8月17日 | 9月11日 | 11月15日 | 12月17日 | |
| カリフラワー(7) | 南2 | 0.6 | スノーニューダイヤ | 65 | 40 | 8月17日 | 9月11日 | 12月17日 | 2月4日 (2019年) | |
| カリフラワー(8) | 南2 | 0.3 | ホワイトキャンディ | 65 | 40 | 8月17日 | 9月11日 | 12月4日 | 12月27日 | |
| カリフラワー(9) | 南2 | 0.2 | オレンジブーケ | 65 | 40 | 8月17日 | 9月11日 | 12月19日 | 1月18日 (2019年) | |
| カリフラワー(10) | 南2 | 0.2 | バイオレットクイン | 65 | 40 | 8月17日 | 9月11日 | 11月28日 | 12月26日 | |
| カリフラワー(11) | 南2 | 0.1 | スパイラルロマネスコ | 65 | 40 | 8月24日 | 9月14日 | 次年度収穫予定 | | |
| 春ホウレンソウ(1) | 西2 | 0.5 | ミストラル | 65 | 15 | 10月17日 (2017年) | ————— | 12月25日 (2017年) | 1月16日 (2018年) | |
| 春ホウレンソウ(2) | 西1 | 0.5 | ミストラル | 65 | 15 | 2月28日 | ————— | 4月16日 | 4月30日 | |
| 春ホウレンソウ(3) | 西1 | 0.5 | ミストラル | 65 | 15 | 3月7日 | ————— | 4月19日 | 4月30日 | |
| 春ホウレンソウ(4) | 西1 | 0.5 | ミストラル | 65 | 15 | 3月20日 | ————— | 4月30日 | 5月9日 | |
| 春ホウレンソウ(5) | 西1 | 0.5 | リード | 65 | 15 | 4月3日 | ————— | 5月10日 | 5月18日 | |
| 春ホウレンソウ(6) | 西1 | 0.5 | 晩抽サマースカイ | 65 | 15 | 4月16日 | ————— | 5月25日 | 5月31日 | |
| 秋ホウレンソウ(1) | 西5 | 0.1 | ジャスティス | 65 | 15 | 8月10日 | ————— | 10月3日 | 10月3日 | 高気温のため発芽不良 |
| 秋ホウレンソウ(2) | 西5 | 0.1 | リード | 65 | 15 | 8月10日 | ————— | 10月15日 | 10月22日 | 高気温のため発芽不良 |
| 秋ホウレンソウ(3) | 西5 | 0.5 | ミストラル | 65 | 15 | 8月27日 | ————— | 10月15日 | 10月22日 | 高気温のため発芽不良 |
| 秋ホウレンソウ(4) | 西5 | 0.3 | ミストラル | 65 | 15 | 9月3日 | ————— | 10月11日 | 10月15日 | |
| 秋ホウレンソウ(5) | 西5 | 0.4 | ミストラル | 65 | 15 | 9月11日 | ————— | 10月16日 | 10月19日 | |
| 秋ホウレンソウ(6) | 西5 | 0.5 | ミストラル | 65 | 15 | 9月18日 | ————— | 10月22日 | 11月6日 | |
| 秋ホウレンソウ(7) | 西5 | 0.5 | ミストラル | 65 | 15 | 9月25日 | ————— | 11月7日 | 11月15日 | |
| 秋ホウレンソウ(8) | 西5 | 0.5 | ミストラル | 65 | 15 | 10月1日 | ————— | 11月15日 | 11月27日 | |
| 秋ホウレンソウ(9) | 西5 | 0.5 | ミストラル | 65 | 15 | 10月5日 | ————— | 11月28日 | 12月7日 | |
| 秋ホウレンソウ(10) | 西5 | 0.5 | ミストラル | 65 | 15 | 10月12日 | ————— | 12月10日 | 12月27日 | |
| 秋ホウレンソウ(11) | 西5 | 0.5 | ミストラル | 65 | 15 | 10月19日 | ————— | 12月20日 | 1月11日 (2019年) | |
| 秋ホウレンソウ(12) | 西5 | 1.0 | ミストラル | 65 | 15 | 10月24日 | ————— | 12月25日 | 1月16日 (2019年) | |
| ハウスホウレンソウ(1) | ハウス西3 | 0.5 | ミストラル | 65 | 15 | 12月20日 (2017年) | ————— | 2月19日 (2018年) | 3月1日 (2018年) | |
| ハウスホウレンソウ(2) | ハウス西3 | 0.5 | ミストラル | 65 | 15 | 1月5日 (2018年) | ————— | 3月5日 (2018年) | 3月12日 (2018年) | |
| ハウスホウレンソウ(3) | ハウス西4 | 0.5 | ミストラル | 65 | 15 | 11月15日 (2018年) | ————— | 1月17日 (2019年) | 1月30日 (2019年) | |
| ハウスホウレンソウ(4) | ハウス西4 | 0.5 | ミストラル | 65 | 15 | 11月27日 (2018年) | ————— | 1月30日 (2019年) | 2月12日 (2019年) | |
| ハウスホウレンソウ(5) | ハウス西4 | 0.5 | ミストラル | 65 | 15 | 12月7日 (2018年) | ————— | 2月12日 (2019年) | 2月18日 (2019年) | |
| ハウスホウレンソウ(6) | 西1脇ハウス | 0.5 | ミストラル | 65 | 15 | 1月4日 (2019年) | ————— | 次年度収穫予定 | | |
| 細ネギ(1) | 西4 | 0.5 | 九条太 | — | 条播 | 4月13日 | ————— | 6月6日 | 6月22日 | |
| 細ネギ(2) | ハウス西3 | 1.2 | 九条太 | — | 条播 | 4月24日 | ————— | 6月25日 | 7月25日 | |
| 細ネギ(3) | ハウス西3 | 0.7 | 赤ひげ | — | 条播 | 4月24日 | ————— | ————— | ————— | |
| 中ネギ(1) | 西5 | 1.0 | 九条太 | 65 | 20 | 4月13日 | 7月4日 | 8月21日 | 9月6日 | |
| 中ネギ(2) | 西5 | 1.0 | 九条太 | 65 | 20 | 4月13日 | 7月13日 | 9月6日 | 9月25日 | |
| 中ネギ(3) | 西5 | 1.5 | 九条太 | 65 | 20 | 4月13日 | 7月23日 | 9月26日 | 10月12日 | |
| 中ネギ(4) | 西5 | 1.2 | 九条太 | 65 | 20 | 4月13日 | 8月9日 | 10月15日 | 12月5日 | |
| 本畑ネギ(1) | 南2 | 6.0 | 九条太 | 90 | 26 | 4月6日 (2017年) | 8月4日 (2017年) | 12月4日 (2017年) | 3月30日 (2018年) | くらしき作陽大学の共同 利用実習にて定植 |
| 本畑ネギ(2) | 南2 | 3.3 | 赤ひげ | 90 | 26 | 4月6日 (2017年) | 8月4日 (2017年) | 12月12日 (2017年) | 3月2日 (2018年) | くらしき作陽大学の共同 利用実習にて定植 |
| 本畑ネギ(3) | 西4 | 4.5 | 九条太 | 90 | 26 | 4月24日 | 8月7日 | 12月10日 | 収穫継続中 | くらしき作陽大学の共同 利用実習にて定植 |
| 本畑ネギ(4) | 西1 | 3.5 | 赤ひげ | 90 | 26 | 4月24日 | 8月7日 | 12月19日 | 収穫継続中 | くらしき作陽大学の共同 利用実習にて定植 |
| リーキ(1) | 南2 | 0.2 | ポワロ | 90 | 13 | 4月7日 (2017年) | 8月4日 (2017年) | 12月22日 (2017年) | 2月6日 (2018年) | |
| リーキ(2) | 西1 | 0.4 | ポワロ | 90 | 13 | 4月24日 | 8月7日 | 1月10日 (2019年) | 収穫継続中 | |
| 春レタス(1) | ハウス西4 | 0.5 | シスコ | 65 | 30 | 11月20日 (2017年) | 12月27日 (2017年) | 3月9日 (2018年) | 3月20日 (2018年) | |
| 春レタス(2) | 西1 | 0.5 | シスコ | 65 | 30 | 2月2日 | 3月7日 | 5月1日 | 5月9日 | |
| 春レタス(3) | 西1 | 0.5 | シスコ | 65 | 30 | 2月16日 | 3月20日 | 5月11日 | 5月11日 | |
| 春レタス(4) | 西1 | 0.5 | ディアマンテ | 65 | 30 | 3月2日 | 3月29日 | 5月17日 | 5月22日 | |
| 秋レタス(1) | 西3 | 0.3 | エクセル | 65 | 30 | 8月7日 | 8月30日 | 10月9日 | 10月15日 | |
| 秋レタス(2) | 西3 | 0.3 | ディアマンテ | 65 | 30 | 8月17日 | 9月11日 | 10月22日 | 11月5日 | |
| 秋レタス(3) | 西3 | 0.5 | ディアマンテ | 65 | 30 | 8月24日 | 9月14日 | 10月22日 | 11月5日 | |
| 秋レタス(4) | 西3 | 0.5 | ディアマンテ | 65 | 30 | 8月31日 | 9月19日 | 11月5日 | 11月20日 | |
| 秋レタス(5) | 西5 | 0.6 | シスコ | 65 | 30 | 9月14日 | 10月3日 | 11月21日 | 12月10日 | |
| ハウスレタス(1) | ハウス西5 | 0.5 | シスコ | 65 | 30 | 10月26日 | 11月27日 | 次年度収穫予定 | | |
| 春リーフレタス(1) | ハウス西4 | 0.3 | グリーンウェーブ | 65 | 30 | 11月20日 (2017年) | 12月27日 (2017年) | 2月19日 (2018年) | 3月2日 (2018年) | |

| 作目 | 圃場 | 面積(a) | 品種 | 畦間(cm) | 株間(cm) | 播種(月日) | 定植(月日) | 収穫(始) | 収穫(終) | 備考 |
|--------------|-------|-------|------------|--------|--------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------|
| 春リーフレタス(2) | 西6 | 0.5 | グリーンウェーブ | 65 | 30 | 2月16日 | 3月20日 | 4月26日 | 5月10日 | |
| 秋リーフレタス(1) | 西3 | 0.5 | グリーンジャケット | 65 | 30 | 8月31日 | 9月19日 | 10月22日 | 11月5日 | |
| ハウスリーフレタス(1) | ハウス西5 | 0.3 | グリーンウェーブ | 65 | 30 | 10月26日 | 11月27日 | 1月30日 (2019年) | 2月18日 (2019年) | |
| 春サニーレタス(1) | ハウス西4 | 0.3 | レッドウェーブ | 65 | 30 | 11月20日 (2017年) | 12月27日 (2017年) | 2月28日 (2018年) | 3月9日 (2018年) | |
| 春サニーレタス(2) | 西6 | 0.5 | レッドウェーブ | 65 | 30 | 2月2日 | 3月7日 | 4月16日 | 4月26日 | |
| 春サニーレタス(3) | 西6 | 0.5 | レッドウェーブ | 65 | 30 | 3月2日 | 3月28日 | 5月7日 | 5月21日 | |
| 春サニーレタス(4) | 西6 | 0.5 | 晩抽レッドファイヤー | 65 | 30 | 3月16日 | 4月11日 | 5月24日 | 6月7日 | |
| 秋サニーレタス(1) | 西3 | 0.3 | 晩抽レッドファイヤー | 65 | 30 | 8月17日 | 9月6日 | 10月5日 | 10月11日 | |
| 秋サニーレタス(2) | 西3 | 0.3 | 晩抽レッドファイヤー | 65 | 30 | 8月24日 | 9月11日 | 10月15日 | 10月19日 | |
| 秋サニーレタス(3) | 西3 | 0.5 | レッドウェーブ | 65 | 30 | 9月14日 | 10月3日 | 11月7日 | 11月21日 | |
| ハウスサニーレタス(3) | ハウス西5 | 0.3 | レッドウェーブ | 65 | 30 | 10月26日 | 11月27日 | 2月4日 (2019年) | 2月18日 (2019年) | |
| ロメインレタス | 西5 | 0.2 | コスレタス | 65 | 30 | 9月14日 | 10月3日 | 11月28日 | 12月25日 | |
| サラダ菜(1) | 西6 | 0.1 | 岡山サラダ菜 | 65 | 30 | 3月30日 | 4月27日 | 5月31日 | 6月4日 | |
| サラダ菜(2) | 西1 | 0.5 | 岡山サラダ菜 | 65 | 30 | 4月11日 | 5月11日 | 6月6日 | 6月18日 | |
| サラダ菜(3) | 西1 | 0.5 | 岡山サラダ菜 | 65 | 30 | 4月24日 | 5月25日 | 6月22日 | 7月2日 | |
| ニラ(1) | ハウス西5 | 1.5 | 大葉 | 65 | 20 | 4月18日 (2017年) | 7月4日 (2017年) | 10月18日 (2017年) | 10月30日 (2018年) | |
| ニラ(2) | ハウス西1 | 1.5 | 大葉 | 65 | 20 | 4月17日 (2018年) | 7月9日 (2018年) | 10月9日 (2018年) | 収穫継続中 | |
| ニンニク(1) | 西4 | 1.0 | 上海早生 | 65 | 20 | 11月1日 (2017年) | ————— | 5月22日 | 5月28日 | |
| ニンニク(2) | 西4 | 1.0 | 嘉定種 | 65 | 20 | 11月1日 (2017年) | ————— | 5月22日 | 5月28日 | |
| ニンニク(3) | 西1 | 0.7 | 上海早生 | 65 | 20 | 10月19日 (2018年) | ————— | 次年度収穫予定 | | |
| ニンニク(4) | 西1 | 0.7 | 嘉定種 | 43 | 20 | 10月19日 (2018年) | ————— | 次年度収穫予定 | | |
| 春ミズナ(1) | 西2 | 0.7 | 京みぞれ | 65 | 30 | 10月2日 (2017年) | 10月27日 (2017年) | 1月9日 (2018年) | 1月29日 (2018年) | |
| 春ミズナ(3) | 西4 | 0.3 | 京みぞれ | 43 | 20 | 2月16日 | 3月20日 | 4月17日 | 4月19日 | |
| 春ミズナ(4) | 西4 | 0.3 | 京みぞれ | 43 | 20 | 3月2日 | 3月28日 | 4月23日 | 5月8日 | |
| 春ミズナ(5) | 西4 | 0.3 | 京みぞれ | 43 | 20 | 3月16日 | 4月5日 | 5月8日 | 5月25日 | |
| 春ミズナ(6) | 西4 | 0.3 | 京みぞれ | 43 | 20 | 3月30日 | 4月27日 | 5月28日 | 6月4日 | |
| 秋ミズナ(1) | 西3 | 0.3 | 京みぞれ | 65 | 20 | 8月24日 | 9月14日 | 10月9日 | 10月15日 | |
| 秋ミズナ(2) | 西3 | 0.5 | 京みぞれ | 65 | 20 | 9月7日 | 9月26日 | 10月17日 | 11月5日 | |
| 秋ミズナ(3) | 西3 | 0.6 | 京みぞれ | 65 | 20 | 9月14日 | 10月3日 | 11月5日 | 11月26日 | |
| 秋ミズナ(4) | 西3 | 0.3 | 京みぞれ | 65 | 20 | 9月21日 | 10月11日 | 11月27日 | 12月17日 | |
| 秋ミズナ(5) | 西3 | 0.5 | 京みぞれ | 65 | 20 | 9月28日 | 10月24日 | 12月18日 | 12月27日 | |
| 秋ミズナ(6) | 西3 | 0.5 | 京みぞれ | 65 | 20 | 10月5日 | 11月7日 | 12月25日 | 1月8日 (2019年) | |
| ハウスミズナ(1) | ハウス西4 | 0.5 | 京みぞれ | 65 | 20 | 11月20日 (2017年) | 12月27日 (2017年) | 2月7日 (2018年) | 2月16日 (2018年) | |
| ハウスミズナ(2) | ハウス西5 | 0.5 | 京みぞれ | 65 | 20 | 10月26日 | 11月27日 | 1月10日 (2019年) | 1月24日 (2019年) | |
| 春コマツナ(1) | 西1 | 0.5 | 夏楽天 | 65 | 15 | 3月9日 | ————— | 4月19日 | 5月8日 | |
| 春コマツナ(2) | 西1 | 0.5 | 夏楽天 | 65 | 15 | 3月20日 | ————— | 5月8日 | 5月22日 | |
| 春コマツナ(3) | 西1 | 0.5 | 夏楽天 | 65 | 15 | 4月3日 | ————— | 5月17日 | 5月22日 | |
| 秋コマツナ(1) | 西3 | 0.5 | 夏楽天 | 65 | 15 | 8月27日 | ————— | 9月21日 | 10月11日 | |
| 秋コマツナ(2) | 西3 | 0.3 | 夏楽天 | 65 | 15 | 9月6日 | ————— | 10月2日 | 10月4日 | |
| 秋コマツナ(3) | 西3 | 0.3 | 夏楽天 | 65 | 15 | 9月12日 | ————— | 10月9日 | 10月15日 | |
| 秋コマツナ(4) | 西3 | 0.3 | 夏楽天 | 65 | 15 | 9月19日 | ————— | 10月15日 | 10月19日 | |
| 秋コマツナ(5) | 西3 | 0.3 | 夏楽天 | 65 | 15 | 9月25日 | ————— | 10月22日 | 10月26日 | |
| 秋コマツナ(6) | 西3 | 0.3 | 夏楽天 | 65 | 15 | 10月1日 | ————— | 10月29日 | 11月5日 | |
| 秋コマツナ(7) | 西3 | 0.3 | 夏楽天 | 65 | 15 | 10月5日 | ————— | 11月8日 | 11月21日 | |
| サトイモ(1) | 西3 | 1.0 | エグイモ | 110 | 60 | 3月23日 | 5月15日 | 1月11日 (2019年) | 1月11日 (2019年) | 芽出苗 農場実習にて定植 |
| サトイモ(2) | 西3 | 4.0 | エグイモ | 110 | 60 | 4月10日 | ————— | 11月12日 | 1月11日 (2019年) | |
| サトイモ(3) | 西3 | 0.5 | 赤芽大吉 | 110 | 60 | 3月23日 | 5月15日 | 1月11日 (2019年) | 1月11日 (2019年) | 芽出苗 農場実習にて定植 |
| サトイモ(4) | 西3 | 0.5 | 赤芽大吉 | 110 | 60 | 4月10日 | ————— | 1月11日 (2019年) | 1月11日 (2019年) | |
| サトイモ(5) | 西3 | 1.5 | 石川早生 | 110 | 60 | 4月6日 | ————— | 11月12日 | 11月12日 | 農場実習にて収穫 |
| サトイモ(6) | 西3 | 0.5 | タケノコイモ | 110 | 60 | 4月10日 | ————— | 1月11日 (2019年) | 1月11日 (2019年) | |
| コカブ(1) | 西3 | 0.1 | 耐病ひかり | 65 | 15 | 9月3日 | ————— | 9月26日 | 10月15日 | |
| コカブ(2) | 西3 | 0.1 | 耐病ひかり | 65 | 15 | 9月12日 | ————— | 10月9日 | 10月15日 | |
| コカブ(3) | 西3 | 0.1 | 耐病ひかり | 65 | 15 | 9月18日 | ————— | 10月16日 | 10月22日 | |
| コカブ(4) | 西3 | 0.1 | 耐病ひかり | 65 | 15 | 9月25日 | ————— | 10月23日 | 10月29日 | |
| コカブ(5) | 西3 | 0.1 | 耐病ひかり | 65 | 15 | 10月1日 | ————— | 10月29日 | 12月27日 | |

| 作目 | 圃場 | 面積(a) | 品種 | 畦間(cm) | 株間(cm) | 播種(月日) | 定植(月日) | 収穫(始) | 収穫(終) | 備考 |
|------------|-------|-------|-----------|--------|--------|-------------------|------------------|-------------------|------------------|-----------------------------|
| カブ(1) | 西2 | 0.2 | 早生大蕪 | 65 | 20 | 10月11日 | ————— | 1月10日 (2018年) | 2月1日 (2018年) | |
| カブ(2) | 西3 | 0.5 | 早生大蕪 | 65 | 20 | 9月3日 | ————— | 10月29日 | 12月10日 | 10/1間引き実施 |
| カブ(3) | 西3 | 0.5 | 早生大蕪 | 65 | 20 | 9月12日 | ————— | 12月10日 | 12月25日 | 10/10間引き実施 |
| カブ(4) | 西3 | 0.4 | 聖護院大丸蕪 | 65 | 20 | 9月25日 | ————— | 12月25日 | 1月28日 (2019年) | 10/15間引き実施 |
| 赤カブ | 西3 | 0.1 | 本紅赤丸蕪 | 65 | 20 | 9月25日 | ————— | 12月3日 | 12月26日 | 10/15間引き実施 |
| ラディッシュ(1) | 西3 | 0.1 | コメット | 65 | 15 | 9月3日 | ————— | 9月21日 | 10月2日 | |
| ラディッシュ(2) | 西3 | 0.1 | コメット | 65 | 15 | 9月12日 | ————— | 10月2日 | 10月9日 | |
| ラディッシュ(3) | 西3 | 0.1 | ニューコメット | 65 | 15 | 9月18日 | ————— | 10月10日 | 10月15日 | |
| ラディッシュ(4) | 西3 | 0.1 | ニューコメット | 65 | 15 | 9月25日 | ————— | 10月15日 | 10月19日 | |
| ラディッシュ(5) | 西3 | 0.1 | ニューコメット | 65 | 15 | 10月1日 | ————— | 10月23日 | 10月25日 | |
| 春ダイコン(1) | 西2 | 0.3 | 耐病総太り | 65 | 20 | 10月5日 (2017年) | ————— | 1月4日 (2018年) | 2月5日 (2018年) | 11/8間引き実施 |
| 春ダイコン(2) | 西2 | 0.3 | 耐病総太り | 65 | 20 | 10月10日 (2017年) | ————— | 1月18日 (2018年) | 2月5日 (2018年) | 11/8間引き実施 |
| 春ダイコン(3) | 西3 | 0.5 | つや風 | 65 | 20 | 3月7日 | ————— | 5月8日 | 5月28日 | 4/12間引き実施 |
| 春ダイコン(4) | 西3 | 0.5 | つや風 | 65 | 20 | 3月20日 | ————— | 5月21日 | 6月5日 | ゲム大学研修で播種 4/23間引き |
| 春ダイコン(5) | 西3 | 0.5 | 耐病総太り二号 | 65 | 20 | 4月3日 | ————— | 5月21日 | 6月13日 | 5/1間引き実施 |
| 春ダイコン(6) | 西3 | 0.5 | 耐病総太り二号 | 65 | 20 | 4月12日 | ————— | 6月13日 | 7月2日 | 5/8間引き実施 |
| 春ダイコン(7) | 西5 | 0.2 | 辛之助 | 65 | 20 | 4月17日 | ————— | 6月11日 | 6月21日 | |
| 秋ダイコン(1) | 西3 | 0.2 | 耐病総太り | 65 | 20 | 8月28日 | ————— | 10月29日 | 11月21日 | 9/18間引き実施 |
| 秋ダイコン(2) | 西3 | 0.3 | 耐病総太り | 65 | 20 | 8月30日 | ————— | 10月29日 | 11月21日 | 中国四国地区国立大学法人 等技術職員研修にて播種 |
| 秋ダイコン(3) | 西3 | 0.5 | 耐病総太り | 65 | 20 | 9月6日 | ————— | 11月5日 | 11月29日 | 9/25間引き実施 |
| 秋ダイコン(4) | 西3 | 0.5 | 耐病総太り | 65 | 20 | 9月12日 | ————— | 11月15日 | 12月7日 | 10/1間引き実施 |
| 秋ダイコン(5) | 西3 | 0.5 | 耐病総太り | 65 | 20 | 9月18日 | ————— | 12月10日 | 1月10日 | 10/9間引き実施 |
| 秋ダイコン(6) | 西3 | 0.3 | 耐病総太り | 65 | 20 | 9月25日 | ————— | 12月25日 | 1月23日 (2019年) | 10/15間引き実施 |
| 秋ダイコン(7) | 西3 | 0.1 | 耐病宮重 | 65 | 20 | 9月25日 | ————— | 12月3日 | 12月3日 | 10/15間引き実施 |
| 秋ダイコン(8) | 西3 | 0.1 | 干し理想 | 65 | 20 | 9月25日 | ————— | 12月3日 | 12月3日 | 10/15間引き実施 |
| 秋ダイコン(9) | 西3 | 0.5 | 耐病総太り | 65 | 20 | 10月1日 | ————— | 12月25日 | 1月23日 (2019年) | 10/22間引き実施 |
| ハウスダイコン(1) | ハウス西3 | 0.4 | 春神楽 | 65 | 20 | 12月19日 (2017年) | ————— | 3月16日 (2018年) | 4月16日 (2018年) | |
| ハウスダイコン(2) | ハウス西3 | 0.1 | 大師 | 65 | 20 | 12月19日 (2017年) | ————— | 3月16日 (2018年) | 4月16日 (2018年) | |
| ハウスダイコン(3) | ハウス西3 | 0.3 | 耐病総太り二号 | 65 | 20 | 1月5日 | ————— | 4月2日 | 4月17日 | |
| ハウスダイコン(4) | ハウス西3 | 0.3 | つや風 | 65 | 20 | 1月5日 | ————— | 4月2日 | 4月17日 | |
| ハウスダイコン(5) | ハウス西4 | 0.5 | 耐病総太り二号 | 65 | 20 | 11月15日 | ————— | 次年度収穫予定 | | 12/19間引き実施 |
| 春ニンジン(1) | 西3 | 0.5 | 向陽二号 | 32 | 10 | 2月27日 | ————— | 5月28日 | 6月18日 | 4/24間引き実施 |
| 春ニンジン(2) | 西3 | 0.5 | 向陽二号 | 32 | 10 | 3月15日 | ————— | 6月6日 | 7月2日 | 5/2間引き実施 |
| 春ニンジン(3) | 西3 | 0.5 | 向陽二号 | 32 | 10 | 3月27日 | ————— | 7月4日 | 7月9日 | 5/8間引き実施 |
| 春ニンジン(4) | 西3 | 0.2 | 愛交時無五寸人参 | 32 | 10 | 4月9日 | ————— | 7月19日 | 7月19日 | 5/30間引き実施 |
| 春ニンジン(5) | 西3 | 0.1 | 紅かおり | 32 | 10 | 4月9日 | ————— | 7月19日 | 7月19日 | 5/18間引き実施 |
| 秋ニンジン(1) | 西1 | 0.5 | 向陽二号 | 32 | 10 | 8月20日 | ————— | 10月29日 | 11月26日 | 9/26間引き実施 |
| 秋ニンジン(2) | 西1 | 0.2 | 向陽二号 | 32 | 10 | 8月28日 | ————— | 11月8日 | 11月26日 | 10/1間引き実施 |
| 秋ニンジン(3) | 西1 | 0.5 | 高農真紅金時 | 32 | 10 | 8月28日 | ————— | 12月17日 | 12月27日 | 10/2間引き実施 |
| 秋ニンジン(4) | 西1 | 0.3 | 向陽二号 | 32 | 10 | 8月30日 | ————— | 11月8日 | 11月26日 | 中国四国地区国立大学法人 等技術職員研修にて播種 |
| 秋ニンジン(5) | 西1 | 0.5 | 向陽二号 | 32 | 10 | 9月5日 | ————— | 11月27日 | 12月10日 | 10/9間引き実施 |
| 秋ニンジン(6) | 西1 | 0.5 | 向陽二号 | 32 | 10 | 9月12日 | ————— | 12月11日 | 12月27日 | 10/15間引き実施 |
| 秋ニンジン(7) | 西1 | 0.5 | 向陽二号 | 32 | 10 | 9月18日 (2018年) | ————— | 1月7日 (2019年) | 1月23日 (2019年) | 10/22間引き実施 |
| 春バレイショ(1) | 西4 | 2.0 | ダンシャク | 100 | 25 | 3月13日 | ————— | 6月18日 | 6月18日 | 農場実習にて収穫 |
| 春バレイショ(2) | 西4 | 2.0 | メークイン | 100 | 25 | 3月13日 | ————— | 6月5日 | 6月5日 | 農場実習にて収穫 |
| 春バレイショ(3) | 西4 | 1.5 | デジマ | 100 | 25 | 3月13日 | ————— | 6月5日 | 6月5日 | 農場実習にて収穫 |
| 春バレイショ(4) | 西4 | 1.0 | アンデス | 100 | 25 | 3月13日 | ————— | 6月18日 | 6月18日 | 農場実習にて収穫 |
| 春バレイショ(5) | 西4 | 1.0 | ニシユタカ | 100 | 25 | 3月13日 | ————— | 6月18日 | 6月18日 | 農場実習にて収穫 |
| 春バレイショ(6) | 西4 | 0.5 | キタアカリ | 100 | 25 | 3月13日 | ————— | 6月18日 | 6月18日 | 農場実習にて収穫 |
| 秋バレイショ(1) | 西2 | 2.5 | デジマ | 100 | 25 | 9月6日 | ————— | 12月5日 | 12月5日 | 9月の雨天続きで発芽不良 |
| 秋バレイショ(2) | 西2 | 1.5 | デジマ | 100 | 25 | 9月11日 | ————— | 12月5日 | 12月5日 | 9月の雨天続きで発芽不良 |
| 秋バレイショ(3) | 西2 | 1.0 | ニシユタカ | 100 | 25 | 9月6日 | ————— | 12月5日 | 12月5日 | 9月の雨天続きで発芽不良 |
| 秋バレイショ(4) | 西2 | 0.5 | アンデス | 100 | 25 | 9月6日 | ————— | 12月5日 | 12月5日 | 9月の雨天続きで発芽不良 |
| セルリー(1) | ハウス西2 | 1.0 | トップセラー | 65 | 40 | 6月23日 (2017年) | 10月6日 (2017年) | 12月25日 (2017年) | 2月26日 (2018年) | 8/31から順次鉢上げ |
| セルリー(2) | ハウス西2 | | トップセラー | | | 8月9日 (2017年) | 10月6日 (2017年) | 12月25日 (2017年) | 2月26日 (2018年) | トロ箱播種分の生育不良のため |
| セルリー(3) | ハウス西2 | 0.5 | 新コーネル619号 | 65 | 40 | 6月23日 (2017年) | 10月6日 (2017年) | 1月19日 (2018年) | 2月26日 (2018年) | 8/31から順次鉢上げ |
| セルリー(4) | ハウス西2 | | 新コーネル619号 | | | 8月9日 (2017年) | 10月6日 (2017年) | 1月19日 (2018年) | 2月26日 (2018年) | プラ箱播種分の生育不良のため |
| セルリー(5) | ハウス西3 | 1.2 | トップセラー | 65 | 40 | 6月1日 | 8月16日 | 11月22日 | 収穫継続中 | |
| セルリー(6) | ハウス西3 | 0.3 | トップセラー | 65 | 40 | 6月30日 | 9月6日 | 1月10日 (2019年) | 収穫継続中 | |

| 作目 | 圃場 | 面積 (a) | 品種 | 畦間 (cm) | 株間 (cm) | 播種 (月日) | 定植 (月日) | 収穫 (始) | 収穫 (終) | 備考 |
|--------------|-------|--------|--------|---------|--------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|----------------|
| ゴボウ | 西5 | 0.1 | サラダむすめ | 130 | 10 | 4月17日 | | 7月4日 | 7月12日 | |
| カラシナ(1) | 西5 | 0.2 | うまから菜 | 65 | 15 | 9月7日 | 9月27日 | 10月16日 | 10月31日 | |
| カラシナ(2) | 西5 | 0.2 | うまから菜 | 65 | 15 | 9月21日 | 10月10日 | 11月1日 | 11月22日 | |
| カラシナ(3) | 西3 | 0.2 | うまから菜 | 65 | 15 | 9月28日 | 10月24日 | 11月26日 | 12月26日 | |
| ワサビナ(1) | 西5 | 0.1 | わさび菜 | 65 | 15 | 9月7日 | 9月27日 | 10月16日 | 11月6日 | |
| ワサビナ(2) | 西5 | 0.1 | わさび菜 | 65 | 15 | 9月14日 | 10月10日 | 11月5日 | 11月20日 | |
| ワサビナ(3) | 西3 | 0.1 | わさび菜 | 65 | 15 | 9月21日 | 10月16日 | 11月20日 | 12月26日 | |
| ワサビナ(4) | 西3 | 0.1 | わさび菜 | 65 | 15 | 9月28日 | 10月24日 | 12月5日 | 12月26日 | |
| カツオナ(1) | 西5 | 0.1 | かつお菜 | 65 | 15 | 9月7日 | 9月27日 | 10月16日 | 10月22日 | |
| カツオナ(2) | 西3 | 0.1 | かつお菜 | 65 | 15 | 9月14日 | 10月11日 | 11月5日 | 11月22日 | |
| カツオナ(3) | 西3 | 0.1 | かつお菜 | 65 | 15 | 9月21日 | 10月24日 | 11月26日 | 12月26日 | |
| 春チンゲンサイ(1) | 西2 | 0.7 | 青武 | 65 | 30 | 10月2日 (2017年) | 10月27日 (2017年) | 12月26日 (2017年) | 1月22日 (2018年) | |
| 春チンゲンサイ(2) | 西4 | 0.5 | 青武 | 65 | 20 | 2月16日 | 3月20日 | 4月17日 | 4月23日 | |
| 春チンゲンサイ(3) | 西4 | 0.5 | 青武 | 65 | 20 | 3月2日 | 3月28日 | 4月23日 | 5月8日 | |
| 春チンゲンサイ(4) | 西4 | 0.5 | 青武 | 65 | 20 | 3月16日 | 4月5日 | 5月9日 | 5月17日 | |
| 秋チンゲンサイ(1) | 西3 | 0.3 | 青武 | 65 | 20 | 8月24日 | 9月14日 | 10月9日 | 10月12日 | |
| 秋チンゲンサイ(2) | 西3 | 0.3 | 青武 | 65 | 20 | 9月7日 | 9月26日 | 10月22日 | 10月25日 | |
| 秋チンゲンサイ(3) | 西3 | 0.4 | 青武 | 65 | 20 | 9月14日 | 10月3日 | 10月29日 | 11月9日 | |
| 秋チンゲンサイ(4) | 西3 | 0.5 | 青武 | 65 | 20 | 9月21日 | 10月11日 | 11月12日 | 12月10日 | |
| 秋チンゲンサイ(5) | 西3 | 0.2 | 青武 | 65 | 20 | 9月28日 | 10月24日 | 12月11日 | 12月21日 | |
| 秋チンゲンサイ(6) | 西3 | 0.5 | 青武 | 65 | 20 | 10月5日 | 11月7日 | 12月25日 | 1月23日 (2019年) | |
| ハウスチンゲンサイ(1) | ハウス西4 | 0.5 | 青武 | 65 | 20 | 11月20日 (2017年) | 12月27日 (2017年) | 2月9日 (2018年) | 2月16日 (2018年) | |
| ハウスチンゲンサイ(2) | ハウス西5 | 0.5 | 青武 | 65 | 20 | 10月26日 | 11月27日 | 1月18日 (2019年) | 2月8日 (2019年) | |
| ハクサイ(1) | 南1 | 1.2 | 黄ごころ90 | 65 | 40 | 8月30日 (2017年) | 9月26日 (2017年) | 1月15日 (2018年) | 2月7日 (2018年) | |
| ハクサイ(2) | 南2 | 0.6 | 無双 | 65 | 30 | 8月24日 | 9月11日 | 11月5日 | 12月4日 | |
| ハクサイ(3) | 南2 | 1.2 | 黄ごころ80 | 65 | 40 | 8月31日 | 9月20日 | 12月4日 | 1月18日 | |
| ハクサイ(4) | 南2 | 1.8 | 黄ごころ90 | 65 | 40 | 8月31日 | 9月21日 | 12月4日 | 1月30日 (2019年) | |
| ハクサイ(5) | 西5 | 0.5 | 黄ごころ90 | 65 | 40 | 8月31日 | 10月3日 | 1月29日 (2019年) | 1月30日 (2019年) | |
| シュンギク(1) | ハウス西1 | 1.5 | 大葉春菊 | 65 | 15 | 8月25日 (2017年) | 9月22日 (2017年) | 10月16日 (2017年) | 3月27日 (2018年) | |
| シュンギク(2) | ハウス西2 | 1.5 | 大葉春菊 | 65 | 15 | 8月24日 | 9月26日 | 10月18日 | 収穫継続中 | |
| タカナ(1) | 西5 | 0.3 | 三池高菜 | 65 | 30 | 9月7日 | 9月27日 | 10月24日 | 11月15日 | |
| タカナ(2) | 西5 | 0.2 | 三池高菜 | 65 | 30 | 9月21日 | 10月10日 | 11月15日 | 12月20日 | |
| タカナ(3) | 西5 | 0.3 | 三池高菜 | 65 | 30 | 9月28日 | 10月24日 | 12月11日 | 1月21日 (2019年) | |
| ノザワナ(1) | 西5 | 0.2 | 野沢菜 | 65 | 20 | 9月14日 | 10月3日 | 10月29日 | 12月14日 | |
| ノザワナ(2) | 西5 | 0.2 | 野沢菜 | 65 | 20 | 9月21日 | 10月10日 | 12月3日 | 1月7日 (2019年) | |
| シロナ(1) | 西4 | 0.1 | 大阪しろな | 65 | 15 | 3月9日 | - | 4月17日 | 5月8日 | |
| シロナ(2) | 西4 | 0.1 | 大阪しろな | 65 | 15 | 3月20日 | - | 4月24日 | 5月8日 | |
| シロナ(3) | 西4 | 0.1 | 大阪しろな | 65 | 15 | 4月3日 | - | 5月7日 | 5月25日 | |
| シロナ(4) | 西4 | 0.1 | 大阪しろな | 65 | 15 | 4月13日 | - | 5月15日 | 5月15日 | |
| ズッキーニ | 西1 | 0.5 | ダイナー | 130 | 60 | 4月6日 | 4月27日 | 6月4日 | 7月17日 | |
| タマネギ(1) | 西4 | 1.8 | 立春のかほり | 65 | 12 (4条定植) | 9月4日 (2017年) | 11月2日 (2017年) | 2月27日 | 3月22日 | 病気が発生の為、収穫を早めた |
| タマネギ(2) | 西4 | 0.6 | フォーカス | 65 | 12 (4条定植) | 9月4日 (2017年) | 11月6日 (2017年) | 3月29日 | 4月9日 | |
| タマネギ(3) | 西4 | 1.2 | マッハ | 65 | 12 (4条定植) | 9月11日 (2017年) | 11月6日 (2017年) | 4月27日 | 4月27日 | |
| タマネギ(4) | 西4 | 1.2 | スパート | 65 | 12 (4条定植) | 9月11日 (2017年) | 11月6日 (2017年) | 4月16日 | 4月23日 | |
| タマネギ(5) | 西4 | 1.2 | ソニック | 65 | 12 (4条定植) | 9月20日 (2017年) | 11月15日 (2017年) | 5月14日 | 5月14日 | |
| タマネギ(6) | 西4 | 1.8 | 猩々赤 | 65 | 12 (4条定植) | 9月25日 (2017年) | 11月21日 (2017年) | 5月29日 | 5月29日 | |
| タマネギ(7) | 西4 | 2.4 | ターボ | 65 | 12 (4条定植) | 9月25日 (2017年) | 11月24日 (2017年) | 6月4日 | 6月13日 | |
| タマネギ(8) | 西4 | 7.2 | ネオアース | 65 | 12 (4条定植) | 10月3日 (2017年) | 12月4日 (2017年) | 6月4日 | 6月13日 | |
| タマネギ(9) | 西4 | 2.5 | ネオアース | 65 | 12 (4条定植) | 12月8日 (2017年) | 2月9日 (2018年) | 6月13日 | 6月13日 | |
| ナス (台木) | | | 耐病VF | | | 1月18日 | 3月15日 (接ぎ) | 6月14日 | 10月3日 | |
| ナス(1) | 西2 | 0.6 | 長者 | 180 | 60 | 1月29日 | 4月23日 | 6月14日 | 10月3日 | |

| 作目 | 圃場 | 面積(a) | 品種 | 畦間(cm) | 株間(cm) | 播種(月日) | 定植(月日) | 収穫(始) | 収穫(終) | 備考 |
|----------|-------|-------|-------------------------|--------|--------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|--|
| ナス(2) | 西2 | 0.6 | 千両 | 180 | 60 | 1月29日 | 4月23日 | 6月14日 | 10月3日 | |
| ナス(3) | 西2 | 0.3 | くろわし・ホワイトベル | 180 | 60 | 1月29日 | 4月23日 | 6月14日 | 10月3日 | |
| ナス(4) | 西2 | 0.3 | 鶴見・衣川・庄屋大長 | 180 | 60 | 1月29日 | 4月23日 | 6月14日 | 10月3日 | |
| ピーマン(1) | 西2 | 0.3 | 伏見甘長 | 180 | 60 | 3月2日 | 5月14日 | 6月14日 | 10月3日 | 9cmポット植え替え4月2日 |
| ピーマン(2) | 西2 | 0.3 | 甘とう美人 | 180 | 60 | 3月2日 | 5月14日 | 6月14日 | 10月2日 | |
| ピーマン(3) | 西2 | 0.6 | 京みどり | 180 | 60 | 3月2日 | 5月14日 | 6月14日 | 10月2日 | |
| ピーマン(4) | 西2 | 0.3 | ニューエース | 180 | 60 | 3月2日 | 5月14日 | 6月14日 | 10月3日 | |
| ピーマン(5) | 西2 | 0.1 | メガホン | 180 | 60 | 3月2日 | 5月14日 | 6月14日 | 10月3日 | |
| ピーマン(6) | 西2 | 0.1 | 激辛番長 | 180 | 60 | 3月2日 | 5月14日 | 6月14日 | 10月3日 | |
| ピーマン(7) | 西2 | 0.1 | 鷹の爪 | 180 | 60 | 3月2日 | 5月14日 | 6月14日 | 10月3日 | |
| スイカ(1) | 西2 | 140.0 | 秀山・ブラックボール・ 紅まくら・夏爽赤 | 400 | 100 | 3月2日 | 4月16日 | 7月17日 | 7月27日 | ①接ぎ3月15日 |
| スイカ台木 | | | かんびょう | | | 3月7日 | | | | |
| スイカ(2) | 西2 | 140.0 | オレンジヴォーノ・ シュガームーン | 400 | 100 | 4月2日 | 5月1日 | 収穫不可 | 収穫不可 | ②③接ぎ4月10日(学生 実習)。西日本豪雨によ り水没。収穫不可。 |
| スイカ台木 | | | かんびょう | | | 3月28日 | | | | |
| スイカ(3) | 西2 | 140.0 | 夏武輝・豪夏 | 400 | 100 | 4月2日 | 5月1日 | 収穫不可 | 収穫不可 | |
| スイカ台木 | | | かんびょう | | | 3月28日 | | | | |
| カボチャ(1) | 西2 | 4.5 | 打木早生赤栗 | 400 | 100 | 4月6日 | 5月14日 | 7月17日 | 7月27日 | |
| カボチャ(2) | 西2 | | ロロン・はやと | 400 | 100 | 4月6日 | 5月14日 | 7月17日 | 7月27日 | |
| カボチャ(3) | 西2 | | 夢見・つるなしやっこ | 400 | 100 | 4月6日 | 5月14日 | 7月17日 | 7月27日 | |
| カボチャ(4) | 西2 | | バターナッツ・えびす | 400 | 100 | 4月6日 | 5月14日 | 7月17日 | 7月27日 | |
| カボチャ(5) | 西2 | | ほっこり133・くりまさる | 400 | 100 | 4月6日 | 5月14日 | 7月17日 | 7月27日 | |
| トウガン | 西2 | 1.4 | とうがん | 400 | 100 | 4月9日 | 5月14日 | 7月23日 | 8月6日 | |
| キュウリ | 汎用温室A | 1.0 | Vシャイン | 1.5 | 30 | 3月26日 | 4月11日 | 5月14日 | 6月29日 | プランター栽培 |
| オクラ | 西2 | 1.2 | グリーンソード | 65 | 36 | 4月19日 | 5月11日 | 6月27日 | 10月1日 | |
| クウシンサイ | 西2 | 1.0 | | 65 | 24 | 4月19日 | 5月11日 | 6月18日 | 10月15日 | |
| ツルムラサキ | 西2 | 0.5 | | 65 | 36 | 4月19日 | 5月11日 | 6月13日 | 10月15日 | |
| モロヘイヤ | 西2 | 0.5 | | 65 | 36 | 4月19日 | 5月11日 | 6月13日 | 10月15日 | |
| ソラマメ | 西2 | 3.0 | 打越一寸 | 65 | 50 | 11月9日 (2017年) | 12月17日 (2017年) | 5月14日 | 6月4日 | |
| トマト(春作) | 汎用温室B | 2.0 | 桃太郎ファイト | 100 | 12 | 12月28日 (2017年) | 2019/2/16 (2018年) | 2019/5/9 (2018年) | 2019/7/12 (2018年) | |
| トマト(春作) | 汎用温室B | 1.0 | シンディースイート | 100 | 10 | 12月28日 (2017年) | 2019/2/16 (2018年) | 2019/5/7 (2018年) | 2019/7/12 (2018年) | |
| トマト(春作) | 汎用温室B | 1.0 | エコスイート | 100 | 10 | 12月28日 (2017年) | 2019/2/16 (2018年) | 2019/4/27 (2018年) | 2019/7/12 (2018年) | |
| トマト(秋作) | 汎用温室B | 2.0 | 桃太郎ファイト | 100 | 12 | 2019/7/26 (2018年) | 2019/8/30 (2018年) | 11月19日 (2018年) | 1月28日 (2019年) | |
| トマト(秋作) | 汎用温室B | 1.0 | シンディースイート | 100 | 10 | 2019/7/26 (2018年) | 2019/8/30 (2018年) | 11月14日 (2018年) | 1月28日 (2019年) | |
| トマト(秋作) | 汎用温室B | 1.0 | エコスイート | 100 | 10 | 2019/7/26 (2018年) | 2019/8/30 (2018年) | 11月9日 (2018年) | 1月28日 (2019年) | |
| イチゴ(1) | 汎用温室C | 4.4a | 女峰 | 100 | 20 | 7月25日 (2017年) | 9月27日 (2017年) | 1月15日 (2018年) | 6月26日 (2018年) | |
| メロン(1) | ハウス西2 | 2.0 | パパイヤ | 300 | 60 | 2月9日 | 3月29日 | 6月21日 | 7月2日 | |
| メロン(2) | ハウス西2 | 2.0 | ラブコール | 300 | 60 | 2月9日 | 3月29日 | 7月9日 | 7月13日 | |
| ささげまめ(1) | 西5 | 1.0 | 清流 | 65 | 36 | 6月6日 | 6月18日 | 7月24日 | 8月20日 | |
| ラッカセイ | 南2 | 3.6 | おおまさり | 65 | 70 | 5月23日 | 6月18日 | 10月9日 | 11月27日 | |
| 水耕栽培 | 汎用温室A | 0.9 | こまつな(夏楽天)他 | 100 | 12 | 12月11日 (2017年) | ———— | 1月15日 (2018年) | 4月9日 (2018年) | 2週間毎に播種収穫 |

(2) 水田部門

平成30年度は稚苗移植栽培のみとし、5月中旬に苗箱に播種し、苗の生育は概ね順調であった。岡山、八浜水田ともに田植え作業は昨年と同様に1週間程度で完了したが、機械トラブルにより八浜1-1号水田の約15aには田植えを実施できなかった。その後生育は順調であった。しかし、八浜水田では、冬季の整地作業により一部改善されたものの、圃場内の高低差が大きく湛水時でも部分的に土壌表面が露出したこと、除草剤の効果が十分に発揮されずヒエ等の水田雑草が発生した。

水稲の作柄、作況指数は全国平均が529kg/10a「98」、岡山県南部は517kg/10a、「98」であった。

岡山水田の栽培品種にはヒノヒカリとヤシロモチ

を用いた。1, 2号, 3号(南側10a)水田は田植え機を用いて稚苗(葉齢2.5~3)を移植栽培した。苗代には学生実習によりヤシロモチを手植えした。3号水田北側(10a)は修士・卒業論文作成のための試験が行われ、多くの研究成果が報告された。八浜水田は全圃場で田植え機を用いた移植栽培を行った。本年度は田植え時の機械トラブル、籾乾燥中の火災による籾の焼失により例年に比べ、著しく米の出荷量が低下する事態となった。

本農場の水稲収量はアケボノ246kg/10a、ヒノヒカリ454kg/10a、あきまさり314kg/10a、平均338kg/10aとなった。(出江嘉朗)

第1表 栽培面積

| 作目 | 栽培様式 | 品種 | 栽培圃場及び面積(a) | 合計(a) |
|------|-------|-------|---|-------|
| 岡山水田 | | | | |
| 水稲 | 移植 | ヒノヒカリ | 1号(40) | 40 |
| | | ヒノヒカリ | 2号(64) | 64 |
| | | ヒノヒカリ | 3号(10) | 10 |
| | | ヤシロモチ | 3号苗代(5) | 5 |
| | 試験研究用 | | 3'号(10, 研究室・未収穫) | |
| 八浜水田 | | | | |
| 水稲 | 移植 | ヒノヒカリ | 1-2号(70) | 70 |
| | 移植 | アケボノ | 1-1号(100) | 100 |
| | 移植 | あきまさり | 1-1'(111), 2号(158), 6号(54) 4号(81), 5号(64), 5'号(70) | 439 |

第2表 栽培の概要

| 作目 | 栽培様式 | 品種 | 播種・移植期 | 播種量 kg/10a | 施肥量(kg/10a) | | | | 収穫期 |
|------|------|-------|------------|---------------|-------------|-------|-------------------------------|------------------|-------------|
| | | | | | 種類 | N | P ₂ O ₅ | K ₂ O | |
| 岡山水田 | | | | | | | | | |
| 水稲 | 移植 | ヒノヒカリ | 5/18・6/13 | 1.3 | 日産Z | 10~11 | 7 | 7 | 10/16~10/19 |
| | | ヤシロモチ | 7/2 | 1.3 | 日産Z | 10~11 | 7 | 7 | 11/5 |
| 八浜水田 | | | | | | | | | |
| 水稲 | 移植 | ヒノヒカリ | 5/18・6/20 | 1.3 | 歩コート | 10~11 | 7 | 7 | 10/23 |
| | 移植 | アケボノ | 5/18・6/20~ | 1.3 | 歩コート | 10~11 | 7 | 7 | 11/6 |
| | 移植 | あきまさり | 5/18・6/20~ | 1.3 | 歩コート | 10~11 | 7 | 7 | 10/24~11/18 |

第3表 水稻防除作業内容

| | 薬品名 | 圃場名(号田) | 使用量(/10a) | 月/日 |
|--------|-------------------|------------------|-----------|-------------|
| 八浜水田 | | | | |
| 除草剤 | アピログロウ粒剤 | 1, 2, 3, 6 | 1kg | 6/22 ~ 6/27 |
| 殺虫・殺菌剤 | アドマイヤー顆粒 | 4, 5 | 24g | 5/22, 5/23 |
| | ブラシンフロアブル | 1, 2, 3, 4, 5, 6 | 100cc | 8/29 |
| | アプロードロムダンモンカットエア- | 1, 2, 3, 4, 5, 6 | 120cc | 8/29 |
| | アルバリン | 1, 2, 3, 4, 5, 6 | 25g | 8/29 |
| 岡山水田 | | | | |
| 除草剤 | アピログロウ粒剤 | 1, 2, 3 | 1kg | 6/13, 6/27 |
| 殺虫・殺菌剤 | ブラシンフロアブル | 1, 2, 3 | 98cc | 8/21 |
| | アプロードロムダンモンカットエア- | 1, 2, 3 | 98cc | 8/17 |
| | アルバリン | 1, 2, 3 | 25g | 8/21 |

(3) 果樹部門

平成30年の生産概要を第1表に、作目ごとの薬剤防除履歴および植物成長調節物質使用履歴を、第2表から第11表に示した。

1) モモ

開花期は例年よりも1週間程度早く、天候が安定していたため結実は良好であった。その後の生育は順調であったが、中生品種の収穫直前から収穫期に当たる7月上旬の梅雨末期には雨が続いた。梅雨明け後は一転して晴天の日が続き、高温乾燥状態となった。

果実発育期間の降水量が多かったため果実は大玉になった。収穫期が近づくと果実の重みで枝が下垂し、樹上からの枝吊りだけでは支えきれない場所では樹下からの支柱が必要であった。

収穫果の糖度は全体的に若干高めであったが、香りは少なかった。‘あかつき’および‘紅清水’の収穫果平均糖度は、収穫初期には15度であったが、雨が続いた収穫後期には12度に下がった。‘清水白桃’では、梅雨明け後の乾燥によって収穫期間が長くなり(7/10～8/3)、収穫果の平均糖度は、収穫初期には11.5度、収穫後期には14度であった。他の主な品種の収穫果平均糖度は‘日川白鳳’15度、‘川中島白桃’14度、‘ゴールデンピーチ’15度、‘西王母’16度であった。‘ゴールデンピーチ’では例年よりも渋味が強く、‘西王母’では600g以上の特大果が多かった。

今年も香港向けに、4kg箱入りの果実を合計52箱輸出し、好評であった。(‘あかつき’3箱、‘紅清水’6箱、‘清水白桃’9箱、‘恵白’22箱、‘西王母’12箱、を5回に分けて出荷)

ビニールハウス内で栽培している樹は生育が不安定で病害虫の発生が多かった。4号園のネクターリン‘秀峰’は9月30日の台風で根元から折損した

3月初めに、4号園に‘白露’3本、1号園に‘白皇’3本を植え付けた。

2) ブドウ

春の気温が高めに推移したため、萌芽期からベレゾーン期までの生育は例年よりも1週間程度早く進行した。5月初めの強風で‘藤稔’の新梢500本が折損したほかは、5～6月の生育はおおむね順調であった。7月初めの梅雨明け以降は、晴れて気温の高い日が8月末まで続いた。9月は雨の日が多く、日照時間が短く、果実の品質に影響を与えた。

ブドウ全体の作柄はほぼ平年並みで、前年並みの生産量であった。

品種ごとに見ると、‘藤稔’は着色が良く、脱粒や腐敗・傷害粒が少なく、収穫後の日持ちが良かった。‘シャインマスカット’は外観・食味ともに優れた果実が多く、高単価で販売できた。‘安芸クイーン’は着色が良く、糖度20度以上の果実が多かった。‘マスカット・ベリーA’は果粒の肥大が劣り、締りの悪いバラ房が多かった。‘翠峰’は、棚上で

の果粒の傷害（裂皮や軟化）が多かった。‘ヒロハ
ンブルグ’は小さめの房に整形したため、着色のむ
らが少なく、品質が良かった。‘マスカット・オブ・
アレキサンドリア’は晩腐病の発生が多かった。

10月下旬になると‘ピオーネ’と‘瀬戸ジャイア
ンツ’では果実の渋味が強くなり、‘ピオーネ’で
は販売不能な果実200kgを廃棄した。12月に入ると、
果実の渋味は‘紫苑’においても問題となった。

3) その他の果樹

1月、2月に最低気温が -5°C 以下の日が3回
あった。特に、2月7日は最低気温が -6.1 度となり、
カンキツ類を中心に被害が発生した。

ウンシュウミカンでは、樹体が小さく、今季の着
果負担が大きかった‘石地’9本中6本が枯死し、
2本が著しく衰弱した。レモンは果実が凍結しほぼ
完全に落葉したが、1本を除き本年中にある程度樹
勢を回復した。アボカドでは、栽植していた2本の
樹のすべての枝が枯死したが、1本は下部から芽が
吹いて再生した。

カキとリンゴは平年並みの作柄であった。生産量
の少なかった前年よりも、カキでは3割、リンゴで
は4割、生産量が増えた。キウイフルーツでは摘蕾
を強めに行ったが、思ったほどの果実肥大効果は認
められなかった。

(近藤毅典, 酒井富美子, 山本昭)

第1表 平成30年果樹部門生産概要

| 種類 | 品種 | 面積 (a) | 販売数量 (kg) | 収入金額 (円) |
|-----------|-------------------|--------|-----------|-----------|
| モモ | 清水白桃 | 5.8 | 1,828 | 1,307,669 |
| | あかつき | 1.9 | 936 | 519,902 |
| | 紅清水 | 3.4 | 864 | 478,367 |
| | 白鳳 | 3.7 | 451 | 249,654 |
| | 日川白鳳 | 1.5 | 278 | 190,317 |
| | 川中島白桃 | 2.0 | 102 | 68,675 |
| | 白麗 | 0.8 | 70 | 49,133 |
| | ゴールドンピーチ | 2.2 | 577 | 407,028 |
| | ネクタリン (秀峰) | 0.6 | 67 | 49,965 |
| | その他品種 | 7.5 | 779 | 571,783 |
| | 加工用モモ (全品種合計) | | 225 | 56,250 |
| ブドウ | 藤稔 | 5.3 | 1,285 | 1,171,929 |
| | ピオーネ | 4.6 | 680 | 539,087 |
| | 安芸クイーン | 1.2 | 316 | 252,591 |
| | 巨峰 | 2.8 | 264 | 138,662 |
| | 翠峰 | 1.4 | 241 | 177,921 |
| | オーロラブラック | 1.5 | 161 | 139,201 |
| | シャインマスカット | 2.9 | 918 | 1,537,570 |
| | 瀬戸ジャイアンツ | 2.2 | 678 | 512,743 |
| | 紫苑 | 1.4 | 438 | 461,982 |
| | マスカット・ベリーA | 2.4 | 591 | 238,363 |
| | ヒロハンブルグ | 1.4 | 540 | 366,682 |
| | デラウェア | 1.4 | 96 | 57,564 |
| | アーリー・スチューベン | 0.7 | 319 | 92,433 |
| | キャンベル・アーリー | 0.3 | 54 | 31,814 |
| | マスカット・オブ・アレキサンドリア | 3.0 | 316 | 323,258 |
| グロー・コールマン | 0.4 | 67 | 60,757 | |
| カキ | 平核無 | 4.5 | 1,249 | 315,206 |
| | 西条 | 2.8 | 471 | 136,609 |
| | 富有 | 4.5 | 527 | 111,500 |
| | 松本早生富有 | 2.7 | 458 | 107,672 |
| | その他品種 | 1.9 | 129 | 25,840 |
| リンゴ | つがる | 1.3 | 447 | 137,235 |
| | ふじ | 1.3 | 645 | 220,810 |
| | その他品種 | 0.6 | 159 | 83,710 |
| キウイフルーツ | | 7.9 | 1,196 | 361,083 |
| ウンシュウミカン | | 2.6 | 808 | 282,700 |
| レモン | | 1.1 | 89 | 46,650 |
| ウメ | | 5.4 | 373 | 132,998 |
| ビワ | | 4.3 | 170 | 66,848 |
| スモモ | | 1.4 | 216 | 102,824 |
| ブルーベリー | | 0.8 | 16 | 32,630 |

第2表 モモの薬剤防除履歴（平成30年）

| 月/日 | 薬品名 | 倍率等 | 備考 |
|---|---------------|------------|----------|
| 3/15 | 石灰硫黄合剤 | 20 | |
| 3/19, 22, 23 | コサイド3000 | 1000 | |
| 4/3 | ベルコート水和剤 | 2000 | |
| 4/4 | コンフューザーMM | 218本/26.1a | |
| 〃 | スカシバコンL | 146本/26.1a | |
| 4/12 | オンリーワンフロアブル | 2000 | |
| 〃 | アディオオン乳剤 | 2000 | |
| 4/19 | ヒトマイシンS | 280 | |
| 5/1 | ストロビードライフロアブル | 2000 | |
| 〃 | バリダシン液剤5 | 500 | |
| 〃 | アルバリン顆粒水溶剤 | 2000 | |
| 5/10 | フルーツセイバー | 2000 | |
| 〃 | スターナ水和剤 | 1000 | |
| 〃 | ウララドライフロアブル | 4000 | |
| 〃 | バロックフロアブル | 2000 | 一部のみ |
| 5/21 | ジマンダイセン水和剤 | 600 | |
| 〃 | ノーモルト乳剤 | 2000 | |
| 〃 | バリダシン液剤5 | 500 | 一部のみ |
| 5/24, 29 | ベルコートフロアブル | 1000 | 袋掛け対象樹のみ |
| 5/24, 29, 6/4., 7, 11, 12, 13, 18, 19, 25 | マイコシールド水和剤 | 1500 | 袋掛け対象樹のみ |
| 〃 | フェニックスフロアブル | 4000 | 袋掛け対象樹のみ |
| 6/1 | ベルコート水和剤 | 1000 | |
| 〃 | スターナ水和剤 | 1000 | |
| 〃 | ダーズバンドF | 3000 | |
| 〃 | カスケード乳剤 | 2000 | 一部のみ |
| 6/4., 7, 11, 12, 13, 18, 19, 25 | ストロビードライフロアブル | 2000 | 袋掛け対象樹のみ |
| 6/21 | オンリーワンフロアブル | 2000 | |
| 〃 | モスピラン顆粒水溶剤 | 4000 | |
| 〃 | スターナ水和剤 | 1000 | |
| 6/25 | マイトコーネフロアブル | 1000 | 一部のみ |
| 7/24 | アルバリン顆粒水溶剤 | 2000 | 一部のみ |
| 〃 | ダニゲッターフロアブル | 2000 | 一部のみ |
| 8/10 | バリダシン液剤5 | 500 | 一部のみ |
| 〃 | ダイアジノン水和剤34 | 1000 | 一部のみ |
| 〃 | ダニサラバフロアブル | 1000 | 一部のみ |
| 9/18, 19 | バリダシン液剤5 | 500 | |
| 〃 | スプラサイド水和剤 | 1500 | |
| 9/27 | icボルドー412 | 50 | |
| 10/12 | icボルドー412 | 50 | 一部のみ |
| 11/29 | マシン油乳剤95 | 20 | |

第3表 ブドウ（雨よけハウス）の薬剤防除履歴（平成30年）

| 月/日 | 薬品名 | 倍率 |
|--------------------|-------------|------|
| 3/23, 29, 30 | 石灰硫黄合剤 | 7 |
| 〃 | ベフラン液剤25 | 250 |
| 4/20 | アプロードフロアブル | 1000 |
| 〃 | サンマイト水和剤 | 1500 |
| 5/1 | ウラドライフロアブル | 2000 |
| 〃 | スプラサイド水和剤 | 1500 |
| 5/26 | ジマンダイセン水和剤 | 600 |
| 〃 | ポリベリン水和剤 | 1000 |
| 〃 | アルバリン顆粒水溶剤 | 2000 |
| 6/14, 18, 22 | オンリーワンフロアブル | 2000 |
| 〃 | スプラサイド水和剤 | 1500 |
| 〃 | バロックフロアブル | 2000 |
| 11/8, 9, 20, 12/27 | スミチオン水和剤40 | 1000 |

第4表 ブドウ（ガラス室、ビニールハウス）の薬剤防除履歴（平成30年）

| 月/日 | 薬品名 | 倍率 |
|--------------|--------------|-------|
| 3/19 | オマイト水和剤 | 1000 |
| 4/23 | インダーフロアブル | 8000 |
| 〃 | アプロードフロアブル | 1000 |
| 5/9 | ポリベリン水和剤 | 1000 |
| 〃 | アルバリン顆粒水溶剤 | 2000 |
| 6/1 | オンリーワンフロアブル | 2000 |
| 〃 | コテツフロアブル | 2000 |
| 〃 | アドマイヤー顆粒水和剤 | 5000 |
| 6/21 | カンタスドライフロアブル | 1500 |
| 〃 | ディアナWDG | 10000 |
| 〃 | ダニゲッターフロアブル | 2000 |
| 11/21, 12/27 | スミチオン水和剤40 | 1000 |

第5表 ブドウの植物成長調節剤使用履歴（平成30年）

| 月/日 | 品 種 名 | 薬品名・濃度 |
|---------------|----------------------|---|
| 4/24, 27, 5/1 | デラウェア | ジベレリン100ppm + フルメット 4ppm + ストレプトマイシン 200ppm |
| 5/1 | シャインマスカット（鉄骨ハウス） | ストレプトマイシン 200ppm |
| 5/7 | シャインマスカット（3号園） | ストレプトマイシン 200ppm |
| 5/15 | 紫苑 | ストレプトマイシン 200ppm |
| 5/17 | シャインマスカット（鉄骨ハウス） | ジベレリン 25ppm + フルメット 5ppm |
| 〃 | オーロラブラック（南ガラス室） | ジベレリン 16.7ppm |
| 5/20 | 巨峰 | ジベレリン 16.7ppm + フルメット 0.5ppm |
| 〃 | 安芸クイーン | ジベレリン 12.5ppm + フルメット 0.2ppm |
| 5/21 | ピオーネ（加工以外） | ジベレリン 12.5ppm + フルメット 2.5ppm |
| 5/23 | ピオーネ（加工） | ジベレリン 25ppm |
| 5/23, 28 | 瀬戸ジャイアンツ（鉄骨ハウス） | ジベレリン 25ppm + フルメット 5ppm |
| 5/24 | デラウェア | ジベレリン 100ppm + 硫酸マンガン 0.5% |
| 5/24, 27 | 藤稔 | ジベレリン 20ppm + フルメット 0.5ppm |
| 5/25 | シャインマスカット（3号園） | ジベレリン 25ppm + フルメット 5ppm |
| 〃 | アーリー・スチューベン | ジベレリン 100ppm |
| 5/27 | 翠峰 | ジベレリン 20ppm + フルメット 0.5ppm |
| 〃 | オーロラブラック（南ガラス室） | ジベレリン 25ppm |
| 5/28, 30 | 紫苑 | ジベレリン 16.7ppm |
| 5/28 | 巨峰, シャインマスカット（鉄骨ハウス） | ジベレリン 25ppm |
| 5/29 | 安芸クイーン | ジベレリン 12.5ppm |
| 6/1 | 瀬戸ジャイアンツ（3号園） | ジベレリン 25ppm + フルメット 5ppm |
| 〃 | ピオーネ（加工以外） | ジベレリン 25ppm |
| 〃 | マスカット・ベリーA | ジベレリン 100ppm + フルメット 5ppm |
| 6/3, 5 | 藤稔 | ジベレリン 25ppm |
| 6/3, 7 | 瀬戸ジャイアンツ（鉄骨ハウス） | ジベレリン 25ppm |
| 6/3 | シャインマスカット（3号園） | ジベレリン 25ppm |
| 6/4 | ヒロハンプルゲ | ジベレリン 100ppm + フルメット 5ppm |
| 〃 | ピオーネ（加工） | ジベレリン 25ppm + フルメット 2.5ppm |
| 6/7 | 翠峰 | ジベレリン 25ppm |
| 6/8 | 紫苑 | ジベレリン 12.5ppm + フルメット 5ppm |
| 6/11 | 瀬戸ジャイアンツ（3号園） | ジベレリン 25ppm |

第6表 カキの薬剤防除履歴（平成30年）

| 月/日 | 薬 品 名 | 倍 率 |
|----------|-------------|------|
| 3/15, 23 | 石灰硫黄合剤 | 7 |
| 4/26 | ベルコート水和剤 | 1500 |
| 〃 | オルトラン水和剤 | 1000 |
| 6/4 | スコア顆粒水和剤 | 3000 |
| 〃 | アーデントフロアブル | 2000 |
| 6/15 | ベルコート水和剤 | 1500 |
| 〃 | アルバリン顆粒水溶剤 | 2000 |
| 7/25 | ジマンダイセン水和剤 | 500 |
| 〃 | フェニックスフロアブル | 4000 |
| 12/14 | マシン油乳剤95 | 20 |

第7表 リンゴの薬剤防除履歴（平成30年）

| 月/日 | 薬品名 | 倍率等 | 備考 |
|-------|-------------|------|------|
| 3/15 | 石灰硫黄合剤 | 7 | |
| 4/25 | ポリベリン水和剤 | 1000 | |
| 〃 | アルバリン顆粒水溶剤 | 2000 | |
| 〃 | カーラフロアブル | 2000 | |
| 5/30 | ベルケート水和剤 | 1000 | |
| 〃 | オリオン水和剤 | 1000 | |
| 〃 | パロックフロアブル | 2000 | |
| 7/26 | モスピラン顆粒水溶剤 | 2000 | |
| 〃 | ダニゲッターフロアブル | 2000 | |
| 〃 | ストップール液剤 | 1000 | 一部のみ |
| 12/26 | マシン油乳剤95 | 20 | |

第8表 キウイフルーツの植物成長調節剤および薬剤防除履歴（平成30年）

| 月/日 | 薬品名 | 倍率等 |
|------|---------|--------|
| 3/15 | 石灰硫黄合剤 | 7倍 |
| 6/4 | フルメット液剤 | 2.5ppm |

第9表 カンキツ類の薬剤防除履歴（平成30年）

| 月/日 | 薬品名 | 倍率 | 備考 |
|------|---------------|------|------|
| 5/14 | ストロビードライフロアブル | 3000 | |
| 〃 | アルバリン顆粒水溶剤 | 2000 | |
| 〃 | パロックフロアブル | 2000 | |
| 5/30 | ベルケート水和剤 | 1000 | 一部のみ |
| 〃 | オリオン水和剤 | 1000 | 一部のみ |
| 〃 | パロックフロアブル | 2000 | 一部のみ |

第10表 ウメの薬剤防除履歴（平成30年）

| 月/日 | 薬品名 | 倍率 |
|-------|---------------|------|
| 3/28 | ベルケート水和剤 | 2000 |
| 〃 | アルバリン顆粒水溶剤 | 2000 |
| 4/26 | ストロビードライフロアブル | 2000 |
| 〃 | アルバリン顆粒水溶剤 | 2000 |
| 12/25 | マシン油乳剤95 | 20 |

第11表 スモモの薬剤防除履歴（平成30年）

| 月/日 | 薬品名 | 倍率 |
|-------|---------------|------|
| 3/15 | 石灰硫黄合剤 | 20 |
| 4/4 | スコア顆粒水和剤 | 2000 |
| 〃 | スカウトフロアブル | 2000 |
| 4/26 | ストロビードライフロアブル | 2000 |
| 〃 | アルバリン顆粒水溶剤 | 2000 |
| 5/21 | サムコルフロアブル10 | 2500 |
| 12/25 | マシン油乳剤95 | 20 |

(4) 畜産部門

平成30年の飼育牛移動状況を第1表に示す。子牛生産頭数は、雌が20頭、雄が14頭の計34頭であった。

本年の販売総数は35頭で、うち子牛33頭、肥育牛2頭であった。

繁殖成績を第2表に示す。本年は、人工授精で36を受胎させることができたが、受精卵移植は未実施であった。今後は、受精卵移植頭数を積極的に増やし、購入受精卵の導入による改良も進め、また牛の観察と飼養管理に気を配りながら、1頭でも多くの牛を受胎できるように努めたい。

子牛の販売成績を、第3表に示す。子牛出荷頭数は、去勢20頭、雌13頭の合計33頭であった。出荷日齢は、前年と比較して、去勢で10日、雌で2日短くなった。出荷体重は、前年と比較して、去勢は、4kg減り、雌は、6kg増えた。価格は、前年より去勢は3万円安値で、雌2.7万円安値であった。本年の子牛の発育は、昨年と比較して、去勢、雌とも良好であった。現在子牛市場で実施されている「岡山和牛推奨子牛」の表示販売では、当牧場の去勢牛5頭と、雌牛3頭が「おかやま四ツ星子牛」として販売された。今後も、「おかやま四ツ星子牛」として販売できるように、さらに飼養管理技術の向上に努めたい。

また、本年もコクシジウム症の発生はなかった。分娩前の「下痢5種混ワクチン」の接種を今後も継続し、下痢の発生を抑え、下痢が発生した場合にも早期発件・早期治療に努めたい。破傷風においても発症は認められず、去勢方法をリングから観血去勢への変更が功を奏したと思われる。枝肉販売成績を、第4表に示す。

平成30年における飼料作物の生産状況を第5表に示す。

採草地での飼料作物の青草換算収量は355,648kgであり、10a当たりの平均収量は7,170kgであった。採草地と放牧草地の収量を合わせた総収量は519,328kgとなった。利用形態別による収量割合は、青刈り0%、乾草5.8%、サイレージ52.7%、放牧31.5%であった。

本年は、青刈りによる収穫は実施しなかった。乾草調製用の材料草として、E号草地からイタリアン

ライグラスを収穫した。本年のイタリアンライグラスの乾草は、天候に恵まれず、E号草地の1カ所だけであったが、収穫物は、良好であった。

本年の、スーダングラスの乾草は、天候と作業の都合により、K1号の1カ所だけであった。

昨年から、ロール・ベラーの導入により、サイレージ調整の作業が容易になり、短い期間で、収穫が可能になった。イタリアンライグラスは、好天の日が続けば半分をロール・サイレージに、残りを乾草するなど作業の幅が広がった。ロール・サイレージの導入当初は、圃場でラップ作業をしていたが、圃場の堅い草によってラップに穴があく事例が発生したため、牛舎前の広場にロールをすべて回収した後ラップすることに変更し、ロールに穴が開くことは激減したが、ロールを回収する作業に時間を要するので、量が多い時には、岡山農場からの応援により作業を行った。

本年は、春作として、A号、D号、E号、K1号、K2号、およびK3号草地にイタリアンライグラスを、夏作としてA号、D号、E号、K1号、K2号、およびK3号草地にスーダングラスを播種し収穫した。全部の草地で、春作・夏作の収穫ができたので、ロール・サイレージの数が、468個収穫でき、昨年より、130個以上多かった。

本年も、イノシシ対策として牧場の外周に設置した防護用の金網の補修・点検を行ったが、インシシの侵入があり、金網の下を掘られたり、金網を曲げられたりした。今後も、点検・補修を徹底し、駆除班の協力を得ながら、イノシシ対策を進めてゆきたい。

本年は、昨年にA号草地のワルナスビが大量に発生したため、夏作の作付けを行わず除草剤による生育処理を行った結果、ワルナスビの発生は、見られなかった。今後も、薬剤処理技術を粗飼料生産システムに組み入れて、少しでも多くの収穫が得られるようにしたい。

放牧草地では、今年もオナモミ、ワルナスビ、イグサ、セイタカアワダチソウなどの雑草がみられ、学生実習での除草作業と除草剤散布を行った。今後も、継続して除草作業を行う予定である。

第1表 令和元年飼育移動状況

| | | 雌 | | | | 雄 | | | 合 計 | |
|--------------|---|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|----|
| | | 子牛 | 育成牛 | 繁殖牛 | 肥育牛 | 子牛 | 育成牛 | 肥育牛 | | |
| 平成30年1月1日現在 | | 12 | 1 | 40 | 0 | 8 | 0 | 0 | 61 | |
| 期間移動 | 増 | 生産 | 9 | - | - | - | 10 | - | - | 19 |
| | | 振替 | - | 0 | 1 | 2 | - | - | - | 3 |
| | 減 | 振替 | 0 | 1 | 2 | - | - | - | - | 3 |
| | | へい死 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 売却 | 6 | - | - | - | 6 | - | - | 12 |
| 令和元年6月30日現在 | | 15 | 0 | 39 | 2 | 12 | 0 | 0 | 68 | |
| 期間移動 | 増 | 生産 | 9 | - | - | - | 7 | - | 0 | 16 |
| | | 振替 | - | 2 | - | 2 | - | - | - | 4 |
| | 減 | 振替 | 2 | - | 2 | - | - | - | - | 4 |
| | | へい死 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 売却 | 7 | - | - | 2 | 11 | - | - | 20 |
| 令和元年12月31日現在 | | 5 | 2 | 37 | 2 | 8 | 0 | 0 | 64 | |

第2表 令和元年人工授精・受精卵移植成績 (31.1.1 ~ 1.12.31)

| | 実施頭数 | 受胎頭数 | 受胎率 (%) | 受精回数 | | | | | | | |
|-------|------|------|---------|------|-----|----|-----|----|-----|------|-----|
| | | | | 1 | | 2 | | 3 | | 4回以上 | |
| | | | | 受胎 | 不受胎 | 受胎 | 不受胎 | 受胎 | 不受胎 | 受胎 | 不受胎 |
| 人工授精 | 43 | 37 | 86 | 25 | 3 | 6 | 0 | 4 | 3 | 2 | 3 |
| 受精卵移植 | 0 | 0 | 0 | - | - | - | - | - | - | - | - |

第3表 令和元年子牛販売実績

| 販売年月日 | 耳番号 | 生年月日 | 性別 | 生後日齢(日) | 体重(kg) | 日齢体重(kg/日) | 落札価格(千円) | kg当り単価(円) | 母牛番号 | 父牛名号 |
|----------|------|-----------|----|---------|--------|------------|----------|-----------|------|------|
| H31.1.18 | P359 | H30.3.29 | 雌 | 295 | 250 | 0.847 | 585 | 2,340 | Y240 | 美津百合 |
| | P361 | H30.4.9 | 雌 | 284 | 280 | 0.986 | 614 | 2,193 | Y244 | 茂晴花 |
| | P363 | H30.5.14 | 去 | 249 | 300 | 1.205 | 773 | 2,577 | Y251 | 福増 |
| H31.3.29 | P364 | H30.6.5 | 去 | 276 | 312 | 1.130 | 744 | 2,481 | Y265 | 安福勝 |
| | P366 | H30.7.19 | 去 | 232 | 271 | 1.168 | 757 | 2,793 | Y274 | 菊花国 |
| | P367 | H30.7.30 | 雌 | 221 | 257 | 1.163 | 581 | 2,261 | Y266 | 百合勝安 |
| H31.4.19 | P365 | H30.7.15 | 雌 | 278 | 254 | 0.914 | 582 | 2,291 | Y273 | 福安照 |
| | P368 | H30.8.1 | 去 | 261 | 261 | 1.000 | 701 | 2,686 | Y217 | 美津百合 |
| | P369 | H30.8.2 | 去 | 260 | 300 | 1.154 | 786 | 2,620 | Y268 | 芳之国 |
| | P370 | H30.8.9 | 去 | 253 | 274 | 1.083 | 745 | 2,719 | Y262 | 茂晴花 |
| | P371 | H30.8.13 | 雌 | 249 | 273 | 1.096 | 617 | 2,260 | Y248 | 茂晴花 |
| R1.6.7 | P373 | H30.9.13 | 雌 | 267 | 275 | 1.030 | 648 | 2,356 | Y267 | 藤沢茂 |
| R1.7.12 | P375 | H30.9.20 | 雌 | 295 | 265 | 0.898 | 614 | 2,317 | Y259 | 福安照 |
| | P376 | H30.10.17 | 雌 | 268 | 254 | 0.948 | 636 | 2,504 | Y254 | 美津百合 |
| R1.8.23 | P377 | H30.12.10 | 雌 | 256 | 284 | 1.109 | 580 | 2,042 | Y269 | 藤沢茂 |
| | P378 | H30.12.14 | 去 | 252 | 298 | 1.183 | 750 | 2,517 | Y272 | 美津百合 |
| | P379 | H30.12.29 | 雌 | 237 | 241 | 1.017 | 481 | 1,996 | Y271 | 勝忠福 |
| | P380 | H30.12.31 | 去 | 235 | 259 | 1.102 | 621 | 2,398 | Y259 | 茂晴花 |
| | P381 | H31.1.1 | 去 | 234 | 240 | 1.026 | 577 | 2,404 | Y247 | 芳之国 |
| | P382 | H31.1.6 | 雌 | 229 | 275 | 1.201 | 601 | 2,185 | Y246 | 秋忠平 |
| R1.10.4 | P383 | H31.1.30 | 去 | 247 | 282 | 1.142 | 662 | 2,348 | Y276 | 光彦 |
| | P384 | H31.2.7 | 去 | 239 | 253 | 1.059 | 609 | 2,407 | Y243 | 光彦 |
| | P385 | H31.2.14 | 去 | 232 | 272 | 1.172 | 656 | 2,412 | Y231 | 秋忠平 |
| R1.11.8 | P386 | H31.3.1 | 去 | 252 | 272 | 1.079 | 607 | 2,232 | Y236 | 菊花国 |
| | P387 | H31.3.1 | 去 | 252 | 292 | 1.159 | 779 | 2,668 | Y256 | 茂晴花 |
| | P388 | H31.3.4 | 去 | 249 | 307 | 1.233 | 714 | 2,326 | Y270 | 福増 |
| R1.12.6 | P389 | H31.3.6 | 雌 | 275 | 244 | 0.887 | 513 | 2,102 | Y255 | 芳之国 |
| | P390 | H31.3.7 | 雌 | 274 | 277 | 1.011 | 575 | 2,076 | Y260 | 芳之国 |
| | P391 | H31.3.17 | 去 | 264 | 300 | 1.136 | 700 | 2,333 | Y238 | 美津百合 |
| | P392 | H31.3.19 | 去 | 262 | 267 | 1.019 | 650 | 2,434 | Y242 | 芳之国 |

第4表 平成29年枝肉販売実績

| と殺年月日 | 耳番号 | 性別 | 水引枝肉重量(kg) | 枝肉規格 | 枝肉単価(円/kg) | 売上金額(千円) |
|---------|------|----|------------|------|------------|----------|
| R1.10.1 | Y241 | 雌 | 332.8 | C-1 | 900 | 299,720 |
| R1.10.1 | Y252 | 雌 | 381.4 | C-1 | 1,000 | 381,800 |

第5表 平成30年 津高牧場飼料作物生産量

| 草地 | 面積 (a) | 作物 | 利用形態別収量(kg) | | | | 放牧 延頭数 | 生草換算 収量(kg) | 草地当り収量(kg) | |
|-----|-----------|------------|-------------|-------|---------|---------|-----------|----------------|------------|---------------|
| | | | 青刈 | 乾草 | サイレージ | 放牧 | | | 生草合計 収量 | 10a当り 平均収量 |
| A | 100 | イタリアンライグラス | | | 10,383 | | 31,149 | 89,436 | 8,944 | |
| | | スーダングラス | | | 19,429 | | 58,287 | | | |
| D 2 | 130 | イタリアンライグラス | | | 9,150 | | 27,450 | 91,803 | 7,062 | |
| | | スーダングラス | | | 21,451 | | 64,353 | | | |
| E | 76 | イタリアンライグラス | | 2,560 | | | 12,800 | 45,188 | 5,946 | |
| | | スーダングラス | | | 10,796 | | 32,388 | | | |
| K 1 | 90 | イタリアンライグラス | | | 4,620 | | 13,860 | 63,905 | 7,101 | |
| | | スーダングラス | | 3,460 | 10,915 | | 50,045 | | | |
| K 2 | 60 | イタリアンライグラス | | | 3,956 | | 11,868 | 38,478 | 6,413 | |
| | | スーダングラス | | | 8,870 | | 26,610 | | | |
| K 3 | 40 | イタリアンライグラス | | | 2,236 | | 6,708 | 26,838 | 6,710 | |
| | | スーダングラス | | | 6,710 | | 20,130 | | | |
| 計 | 496 | | | 6,020 | 108,516 | | 355,648 | 355,648 | 7,170 | |
| B | 65 | 混播牧草 | | | | 19,240 | 481 | 19,240 | 19,240 | 2,960 |
| C | 120 | 混播牧草 | | | | 31,440 | 786 | 31,440 | 31,440 | 2,620 |
| D 1 | 20 | 混播牧草 | | | | 3,480 | 87 | 3,480 | 3,480 | 1,740 |
| F | 104 | 混播牧草 | | | | 28,160 | 704 | 28,160 | 28,160 | 2,708 |
| G | 112 | 混播牧草 | | | | 31,120 | 778 | 31,120 | 31,120 | 2,779 |
| H | 47 | 混播牧草 | | | | 4,360 | 109 | 4,360 | 4,360 | 928 |
| I | 185 | 混播牧草 | | | | 45,880 | 1,147 | 45,880 | 45,880 | 2,480 |
| 計 | 653 | | | | | 163,680 | 4,092 | 163,680 | 163,680 | 2,507 |
| 合計 | 1149 | | 0 | 6,020 | 108,516 | 163,680 | 4,092 | 519,328 | 519,328 | 4,520 |

利用形態別における生草換算収量 (kg)

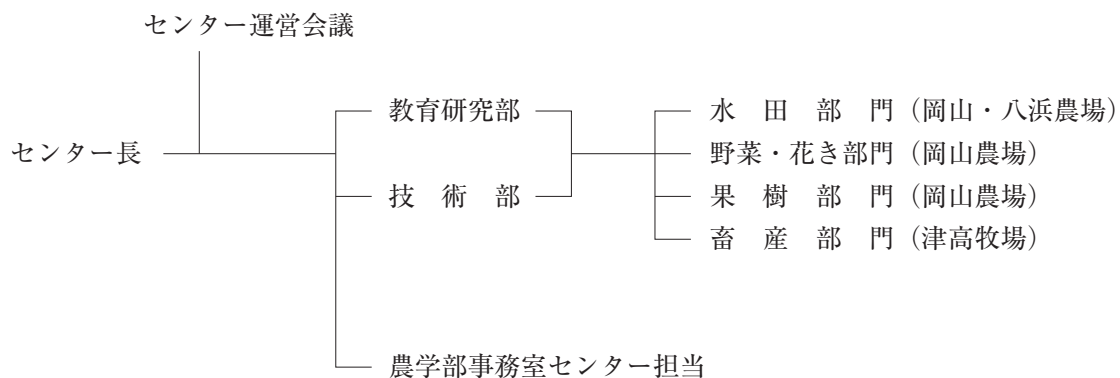
| 青刈 | 乾草 | サイレージ | 放牧 | 合計 |
|----|--------|---------|---------|---------|
| 0 | 30,100 | 325,548 | 163,680 | 519,328 |

*乾草の生草換算は×5, サイレージは×3

2. 事務部

(1) 組織

1) 機構



2) 教職員数

| 区 分 | 教育職員 (一) | 一般職員 (一) 技術・事務職員 | 計 | 平成30年4月1日現在 | | 備考 |
|---------|----------|---------------------|----|-------------|----|----|
| | | | | 非常勤職員 | 合計 | |
| センター長 | 1 | | 1 | | 1 | 教授 |
| 主 事 | 1 | | 1 | | 1 | 教授 |
| 教 授 | 1 | | 1 | | 1 | |
| 准 教 授 | 1 | | 1 | | 1 | |
| 班 長 | | 1 | 1 | | 1 | |
| 副 班 長 | | 1 | 1 | | 1 | |
| 主任(技術部) | | 1 | 1 | | 1 | |
| 技 術 職 員 | | 7 | 7 | | 7 | |
| 事 務 室 長 | | 1 | 1 | | 1 | |
| 主任(事務部) | | 1 | 1 | | 1 | |
| 計 | 4 | 12 | 16 | | 16 | |
| 事務補佐員 | | | | 2 | 2 | |
| 技能補佐員 | | | | | 0 | |
| 技術補佐員 | | | | 3 | 3 | |
| 計 | | | | 5 | 5 | |
| 合 計 | 4 | 12 | 16 | 5 | 21 | |

3) 技術部部門別職員数

| 部 門 | 技術職員 | 非常勤職員 | 平成30年4月1日現在 | |
|-------|------|-------|-------------|-----|
| | | | 合 計 | 備 考 |
| 水田 | 2 | | 2 | |
| 野菜・花き | 4 | 2 | 6 | |
| 果樹 | 2 | 1 | 3 | |
| 畜産 | 2 | | 2 | |
| その他 | | | 0 | |
| 合 計 | 10 | 3 | 13 | |

(2) 予算及び収入

1) 予 算

| 平成30年度 事 項 | 金 額 (円) |
|---------------|------------|
| センター経費 | 44,811,995 |
| 事務室経費 | 191,000 |
| 半田山自然教育研究林経費 | 227,000 |
| 合 計 | 45,229,995 |

2) 収 入

| 平成30年度 | | | | | (円) |
|--------|------------|-----------|------------|------------|------------|
| 区 分 | 野菜・花き | 汎用耕地 | 果樹部門 | 山地畜産 | 合 計 |
| 果 菜 類 | 7,257,356 | — | — | — | 7,257,356 |
| 葉 菜 類 | 5,401,474 | — | — | — | 5,401,474 |
| 根 菜 類 | 2,126,713 | — | — | — | 2,126,713 |
| 花 卉 類 | 1,041,450 | — | — | — | 1,041,450 |
| 果 樹 | — | — | 12,532,710 | — | 12,532,710 |
| 米 | — | 7,426,850 | — | — | 7,426,850 |
| 牛 | — | — | — | 22,746,488 | 22,746,488 |
| そ の 他 | 662,620 | — | 957,500 | — | 1,620,120 |
| 合 計 | 16,489,613 | 7,426,850 | 13,490,210 | 22,746,488 | 60,153,161 |

(3) 土地, 建物面積

1) 土 地

| 農場等名 | 面 積 (㎡) | 所 在 地 |
|------|---------|-----------------|
| 岡山農場 | 91,992 | 岡山市北区津島桑の木町1-62 |
| 八浜農場 | 89,536 | 玉野市東七区 |
| 津高牧場 | 312,484 | 岡山市北区日応寺 |
| 合 計 | 494,012 | |

(4) 備品類及び営繕工事

1) 備品類 (1件50万円以上)

平成30年度

| 備品類名 | 数量 (式) | 金額 (円) |
|------|--------|--------|
| なし | | |

2) 営繕工事 (1件50万円以上)

平成30年度

| 工事名 | 数量 (式) | 金額 (円) |
|-----------------|--------|-----------|
| 津高牧場 和牛繁殖牛舎改修工事 | 1 | 9,364,701 |

(5) 会議開催状況

1) 運営会議

| 開催月日 | 協議事項 | 報告事項 |
|-----------|------------------------------------|--|
| H30. 4. 4 | 1. 平成30年度ワーキンググループ一覧について 2. その他 | 1. 平成30年度春季全国大学附属農場協議会について 2. (株)フィルの事業停止に伴う(株)天満屋の買取契約先の変更について 3. フィールド科学センター利用申込状況について 4. 技術部会議等について 5. フィールド科学センター生産物販売について 6. フィールド科学センター予算執行状況について 7. 緊急連絡網について 8. その他 |

| 開催月日 | 協議事項 | 報告事項 |
|-----------|---|--|
| H30. 6. 6 | 1. 2019年度フィールド実習 I について 2. その他 | 1. 平成30年度春季全国大学附属農場協議会について 2. 平成29年度予算（決算）について 3. 平成30年度センター実習について 4. 技術部会議等について 5. フィールド科学センター利用申込状況について 6. フィールド科学センター生産物販売について 7. オープンキャンパスでの販売について 8. その他 |
| H30. 7. 4 | 1. 平成30年度全国大学附属農場協議会秋季全国協議会について 2. その他 | 1. 夏季集中実習について 2. フィールド科学センター利用申込状況について 3. 技術部会議等について 4. フィールド科学センター生産物販売について 5. その他 |
| H30. 8. 8 | 1. 平成30年度予算配分（案）について 2. 平成30年度中国・四国地域大学附属農場協議会について 3. その他 | 1. 夏季集中実習について 2. ジュニア公開講座について 3. 平成30年7月豪雨について 4. フィールド科学センター利用申込状況について 5. 技術部会議等について 6. フィールド科学センター生産物販売について 7. グットジョブ支援センター職員の農場勤務命令について 8. オープンキャンパスでの販売について 9. その他 |

| 開催月日 | 協議事項 | 報告事項 |
|-----------|---|--|
| H30. 9.10 | 1. フィールド科学センター概要について 2. フィールド科学センター共用車利用に関する 申し合わせの改正について 3. その他 | 1. 夏休み後半集中実習について 2. 津高牧場水質検査について 3. フィールド科学センター利用申 込状況について 4. 技術部会議等について 5. フィールド科学センター生産物 販売について 6. フィールド科学センター予算執 行状況について 7. スーパーグローバルホームカミン グデイでの農産物の販売について 8. グットジョブ支援センター職員 の農場勤務命令について 9. 岡山南支援学校及び岡山大学教 育学部附属特別支援学校PTAに よるフィールド科学センター見学 について 10. その他 |
| H30.10.10 | 1. 平成30年度中国・四国地域大学附属農場協議 会協議事項について 2. センター生産物の教育・研究利用の利用者負 担金に関する申し合わせについて 3. その他 | 1. 平成30年度秋季全国大学附属農 場協議会について 2. 3, 4学期の実習について 3. 津高牧場畜魂祭について 4. フィールド科学センター利用申 込状況について 5. 技術部会議等について 6. フィールド科学センター生産物 販売について 7. フィールド科学センター予算執 行状況について 8. その他 |

| 開催月日 | 協議事項 | 報告事項 |
|-----------|--|---|
| H30.11.12 | 1. 平成31年度非常勤職員採用計画について 2. 平成30年度中国・四国地域大学附属農場協議会協議事項について 3. その他 | 1. 海外短期農業体験実について 2. 八浜農場の乾燥機について 3. 半田山の修復工事について 4. フィールド科学センター利用申込状況について 5. 技術部会議等について 6. フィールド科学センター生産物販売について 7. フィールド科学センター予算執行状況について 8. その他 |
| H30.12. 5 | 1. 2019年度公開講座及びジュニア公開講座について 2. 2019年度実習計画について 3. 1農場1アピールについて 4. 2019年度桃及び米の学内販売について 5. その他 | 1. 平成30年度中国・四国地域大学附属農場協議会協議について 2. 海外短期農業体験実習について 3. フィールド科学センター利用申込状況について 4. 技術部会議等について 5. フィールド科学センター生産物販売について 6. フィールド科学センター予算執行状況について 7. 販売所の年末年始営業について 8. その他 |
| H31. 1. 9 | 1. 2019年度作付計画について 2. 平成30年度予算執行計画について 3. 2019年度センター実習計画について 4. 1農場1アピールについて 5. フィールド科学センター概要について 6. その他 | 1. フィールド科学センター利用申込状況について 2. 技術部会議について 3. フィールド科学センター生産物販売について 4. フィールド科学センター予算執行状況について 5. その他 |

| 開催月日 | 協議事項 | 報告事項 |
|-----------|--|--|
| H31. 2. 6 | 1. 2019年度センター併任教員について 2. 2019年度センター専任教員のコースへの併任について 3. 2019年度農学部部内委員会委員名簿について 4. センター報告第41号の原稿依頼について 5. 技術専門員及び技術専門職員の推薦について 6. その他 | 1. ブロック塀対策工事及び津高牧場改修工事について 2. フィールド科学センター利用申込状況について 3. 技術部会議について 4. フィールド科学センター生産物販売について 5. フィールド科学センター予算執行状況について 6. 技術部技術職員体験発表会について 7. その他 |
| H31. 3. 6 | 1. 2019年度実習実施要項（案）について 2. 2019年度生産物販売日程（案）について 3. その他 | 1. 2019年度公開講座について 2. 海外短期農業体験実習について 3. 非常勤職員の雇用について 4. 半田山巡視結果について 5. グットジョブ職員の勤務命令について 6. フィールド科学センター利用申込状況について 7. 技術部会議について 8. センター生産物販売について 9. フィールド科学センター予算執行状況について 10. その他 |

(6) 施設開放状況

| 施設利用目的, 時期 | 施設利用者名 | 期 間 | 団 体 数 等 | 参加人数 |
|---|--|-----|---|-------------------------------|
| 実習 (7月13日～9月21日) | 岡山理科大学 | 2日 | 1団体 | 教員 1名 学生 17名 |
| 実習 (8月7日) | くらしき作陽大学 | 1日 | 1団体 | 教員 2名 学生 68名 |
| 実習 (10月12日) | 岡山理科大学 | 1日 | 1団体 | 教員 1名 学生 20名 |
| 実習 (10月19日) | 岡山理科大学 | 1日 | 1団体 | 教員 1名 学生 22名 |
| 農場見学 (5月21日) | 岡山理科大学専門学校 | 1日 | 1団体 | 教員 1名 その他 10名 |
| 農場見学 (6月27日) | 岡山市立津島小学校 | 1日 | 1団体 | 小学生 7名 引率保護者 2名 |
| 農場見学 (7月19日) | グローバルディスカバリープログラム | 1日 | 1団体 | 教員 1名 その他 15名 |
| 農場見学 (7月30日) | 広盟投資集団有限公司 外 | 1日 | 1団体 | その他 3名 |
| 農場見学 (8月28日) | 上海交通大学 外 | 1日 | 1団体 | 教員 1名 その他 12名 |
| 農場見学 (9月19日) | 中国広西農業科学院葡萄 萄与ワイン研究所 | 1日 | 1団体 | その他 6名 |
| 農場見学 (9月27日) | 農研機構九州沖縄農業 研究センター | 1日 | 1団体 | その他 1名 |
| 農場見学 (11月22日) | 岡山県立新見高等学校 | 1日 | 1団体 | 引率教員 3名 学生 25名 |
| 農場見学 (1月18日) | (株) アグリスジャパン | 1日 | 1団体 | その他 2名 |
| ジュニア公開講座 (7月28日) | | 1日 | | 小学生 8名 中学生 6名 引率保護者 13名 |
| 公開講座 | 一般市民 | 21日 | | 23家族 |
| いもほり (10月1日～10月26日) ※10月1日, 10月8日, 10 月11日, 10月22日～23日, 10月25日と土日祝は除く | <内訳> 保育園 幼稚園 こども園 小学校 親子クラブ | | 30団体 8団体 8団体 4団体 1団体 9団体 | 約2,300人 |